

作業療法学科 理学療法学科(昼間部・夜間部) 看護学科 介護福祉学科



令和4年度年報



令和4年度年報の発刊に際して

九州中央リハビリテーション学院 学院長

河野 文夫

関係各位 殿

平素より九州中央リハビリテーション学院に対して、ご理解ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。第17号にあたる令和4年度九州中央リハビリテーション学院の年次活動報告書（年報）が出来上がりましたのでご挨拶申し上げます。

本学院は平成18年（2006年）4月に作業療法学科と理学療法学科で高度専門士を養成する4年制の専門学校、九州中央リハビリテーション学院として開校し17年目を迎えております。理学療法学科には夜間部を設けていますが、この理学療法科は、熊本県内では唯一の夜間部です。平成21年（2009年）には、新たに3年課程の看護学科を開設し、そして平成23年（2011年）には2年課程の介護福祉学科を開設しました。さらに平成29年（2017年）から海外からの留学生のための1年課程の国際介護学科を設置しました。また、平成31年（2019年）からは、働く学生がより勉学に励みやすいように、理学療法学科夜間部を4年課程から3年課程にカリキュラムの変更を行いました。現在、当学院は学生数760名を擁し、県内で最大の医療職専門学校となっています。そして、本学院から高い資質を持った、理学療法士、作業療法士、看護師、及び介護福祉士として、これまでに2476名の卒業生が社会人として全国各地の医療福祉の現場で活躍中です。このように令和4年度も、一層充実した学院として歩み続けてまいりました。

開校当初から17年間、教職員は一丸となって教育活動と、学生の生活指導に当たってきました。一方、学生は学院生としての自覚と夢を持って勉学やクラブ活動に励んできました。そしてこれからも先輩に続けと、勉学に打ち込んでいます。このように、学院は明るく生き生きした空気で満ちあふれています。今、当学院は、創成期を経過し、充実発展期に向けて歩みを続けて行くことになりました。

年報は、一年間学院が行った諸々の活動の事実を記録し報告するだけでなく、公にすることにより当学院の諸活動の実態を広く知っていただくとともに、関係者各位からのご忠告ご批判を仰ぐことで、自ら反省し一層充実した教育活動ができるように計画を立て努力することを目的にしています。

この年報を見ていただくと、本学院が一年間行ってきた活動の全貌がお分かりになると思います。昨年度に引き続いて教職員の資質向上に向けFD委員会を開催し、学生との関わりや勉強への動機づけ、カリキュラムの検討など、これからの教育活動に結

びつけられる実りある研修を行う事ができました。また学生一人一人の日常生活にも目を配り、いつでも学生の悩みに学院として対応するために本年度から学生サポート委員会を毎月行っています。

今後も、しっかりと足を地につけて一步一步前進して行ける学院を目指して、この年報を活用していきたいと考えています。

今後とも本学院に対するご理解とご協力をお願い致しますとともに、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

最後になりましたが、皆様方のますますのご活躍を祈念し、ご挨拶と致します。

令和5年5月吉日

学院概要

学校設置者	学校法人 立志学園
代表者	理事長 志垣祥一郎

学校名	九州中央リハビリテーション学院
学校長	河野文夫
所在地	熊本市中央区本山3丁目3番84号
ホームページ	http://www.kcr.ac.jp

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員
医療専門課程	作業療法学科	4年	40人	160人
医療専門課程	理学療法学科昼間部	4年	80人	320人
医療専門課程	理学療法学科夜間部	3年	40人	120人
医療専門課程	看護学科	3年	80人	240人
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	2年	40人	80人
教育・社会福祉専門課程	国際介護学科	1年	20人	20人
計			300人	940人

理念・目的・方針

1. 基本理念

・徳育

道徳心のある、情感豊かな人間性を養うための教育

・知育

知識を広め知能を高めるための教育

・体育

運動能力や健康な生活を営む態度などを養うことを目的とする教育

特に徳育に重点を置き、基本的な礼儀作法を始めとした社会性の習得を徹底させ、奉仕を信条とする人材の育成を図ります。

2. 目的

本学院は、教育基本法および学校教育法に従い、専門職として必要な知識・技能・態度を教授し、あわせて職業倫理をはじめ豊かな教養と人格を涵養し、保健・医療・福祉の分野に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。(学則第2条)

3. 運営方針

<学院づくり指針>

・穏やかな学院

知的躍動が漲り、医学を習得し育てる学院とする。

・健やかな学院

他者を支え、寄り添う幹を伸暢し育てる学院とする。

・美しい学院

感性が迸り、倫理観を涵養し育てる学院とする。

<教育指針>

・全ての学生を適切に指導し、明確な将来像を示し、目標達成に導く。

- ・生命の尊厳を尊重し、他者を敬い、多様な社会で協働・協調できる人材を育成する。
- ・問題発見能力と問題解決能力をもつ人材を育成する。
- ・粘り強く、あきらめない心を育み、自己の責任を全うする人材を育成する。
- ・社会性を育み、良き市民として自らを律し、自省自立できる人材を育成する。

<職員行動指針>

- ・人間力・教育力・専門力の向上に邁進する。
- ・個々の人格を尊重し、多様性を認め、各々が能力を発揮できる環境整備に努める。
- ・それぞれの専門分野を通し、広く社会に貢献する。
- ・社会の一員を自覚し、良き市民として、職業人として、自らを律し自省自立の精神を持つ。

4. アドミッションポリシー(入学者の受け入れ方針)

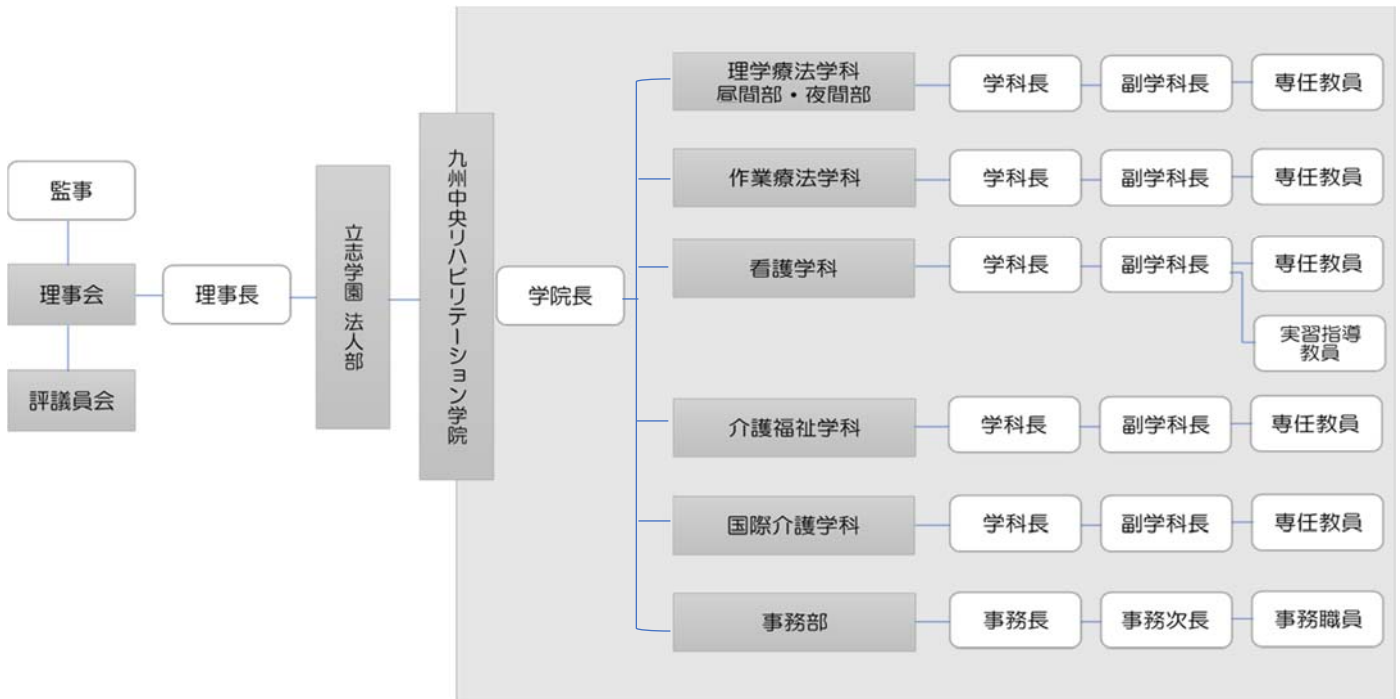
本学は平成18年に開学した、医療系の専修学校です。広く社会に貢献し、高い資質を持った、理学療法士、作業療法士、看護師、及び介護福祉士を養成しています。

本学院は、自ら学ぼうとする意欲と努力を惜しまない学生を求めています。その為には広い視野を持ち、真摯に討論や対話ができ協力し合える能力を備え、また身に付けようと考えている人を広く求めています。

本学院の基本理念である、「知育・徳育・体育」の基、理論と実践に裏打ちされて専門的な知識と技能を身につけるだけでなく、医療人として心豊かな人格の涵養も重要な柱と位置づけ、独自のカリキュラムを用意しています。感性豊かで高い志を持った方々が、本学院の一員となって私たちと共の学びあえることを期待します。

VIII 学院組織構成

VIII-1 組織図（令和4年度）



VIII-2 学校法人 立志学園 理事・評議員・監事（令和4年度）

役職	氏名	勤務先
理事長	志垣 祥一郎	学校法人 立志学園
会長理事	河野 文夫	九州中央リハビリテーション学院 学院長
副理事長	高宮 宏	学校法人 立志学園
副理事長	田爪 正和	学校法人 立志学園
専務理事	志垣 伸太郎	学校法人 立志学園
理事	永田 壮一	医療法人永田会 東熊本病院 理事長
理事	秋岡 廣宣	株式会社熊本放送 特別顧問
評議員	伊津野 良治	財団法人 杏仁会 熊本内科病院 理事長
評議員	富島 三貴	医療法人 博光会 御幸病院・ぼたん園 理事長
評議員	志垣 輝子	
評議員	目黒 純一	学校法人 熊本学園 理事長
評議員	下田 憲幸	株式会社 熊本会計センター 所長
評議員	浅山 弘康	株式会社 熊本放送 特別顧問
評議員	米満 弘一郎	医療法人 寿量会 熊本機能病院 理事長
評議員	由井 照二	由井法律事務所 弁護士
評議員	高濱 照	元九州中央リハビリテーション学院 副学院長
評議員	石崎 聖英	九州中央リハビリテーション学院 事務長
評議員	古山 仁	九州中央リハビリテーション学院 同窓会会長
監事	松本 和雄	松本和雄司法書士事務所 所長
監事	田尻 恒憲	ノーリンプランニング株式会社 代表取締役

沿革

平成16年7月28日	学校法人立志学園設立準備室設置(熊本市新屋敷1丁目3番25号)
平成17年7月15日	財団法人立志学園設立準備財団の設立許可(熊本県知事)
平成18年1月31日	校舎(1号館)竣工
平成18年3月1日	学校法人立志学園 設立認可(熊本県知事)
平成18年3月1日	九州中央リハビリテーション学院 設置認可(熊本県知事)
平成18年3月2日	学校法人立志学園 設立(熊本市本山3丁目3番84号) 志垣祥一郎 初代理事長就任
平成18年3月8日	九州中央リハビリテーション学院 理学療法士作業療法士養成施設の指定(厚生労働大臣)
平成18年4月1日	九州中央リハビリテーション学院 開校(熊本市本山3丁目3番84号) 岡崎禮治 初代学院長に就任
平成18年4月6日	理学療法学科(昼間部・夜間部)、作業療法学科 第1期生 126名入学
平成19年2月22日	理学療法学科夜間部 専門士称号付与認可(医療専門課程)
平成19年2月28日	理学療法学科昼間部 作業療法学科 高度専門士称号付与認可(医療専門課程)
平成20年12月25日	看護師養成施設の指定(九州厚生局長)
平成21年3月10日	2号館 竣工(熊本市本山3丁目3番87号)
平成21年3月19日	理学療法学科 昼間部 入所定員変更(40名→80名)の承認(九州厚生局長)
平成21年4月1日	児玉公道 九州中央リハビリテーション学院 第2代学院長に就任
平成21年4月2日	看護学科 第1期生 43名入学
平成22年2月26日	看護学科(3年課程)専門士称号付与認可(医療専門課程)
平成22年2月26日	理学療法学科夜間部 高度専門士称号付与認可(医療専門課程)
平成22年3月7日	理学療法学科(昼間部・夜間部)、作業療法学科 第1期生 102名卒業
平成22年3月15日	社団法人日本作業療法士協会 認定校登録 世界作業療法士連盟(WFOT) 認定校
平成23年2月2日	3号館 竣工(熊本市本山3丁目3番70号)
平成23年3月9日	介護福祉士養成施設の指定(九州厚生局長)

平成23年4月8日	介護福祉学科 第1期生 44名入学
平成23年12月22日	介護福祉学科(2年課程) 専門士称号付与認可(教育・社会福祉専門課程)
平成24年1月12日	看護学科 入所定員変更(40名→80名)の承認(九州厚生局長)
平成24年3月9日	看護学科 第1期生 36名卒業
平成25年3月9日	介護福祉学科 第1期生 39名卒業
平成27年3月30日	一般社団法人リハビリテーション教育評価機構認定(OT PT PTN)
平成27年5月23日	学校法人立志学園設立10周年記念式典・祝賀会
平成28年2月19日	文部科学省 職業実践専門課程認定(OT PT PTN CW)
平成29年2月24日	文部科学省 職業実践専門課程認定(Ns)
平成29年4月1日	国際介護学科設置 河野文夫 九州中央リハビリテーション学院 第3代学院長就任
平成29年4月3日	志垣伸太郎 学校法人立志学園 第2代理事長就任
平成29年4月6日	国際介護学科 第1期生6名入学
平成30年4月1日	理学療法学科 夜間部4年課程 募集停止
平成31年4月1日	理学療法学科 夜間部3年課程 設置
平成31年4月5日	理学療法学科 夜間部3年課程 第1期生 32名入学

I 学籍異動・教職員数

I -1 学籍異動

学科	学年	定員	令和4年度					令和5年度			
			期初 在籍数	退学数	転科 区分変更	留年数	進級・ 卒業数	新入学数	編入学数	留年数	期初 在籍数
理学療法学科	1	80	89	14	2	1	72	83	0	1	84
	2	80	71	6		1	64	-	0	1	73
	3	80	52	4		3	45	-	0	3	67
	4	80	35	0		1	34	-	0	1	46
	計	320	247	24	2	6	215	83	0	6	270
理学療法学科 夜間部	1	40	30	6		4	20	23	2	4	29
	2	40	30	8		5	17	-		5	25
	3	40	13	0		0	13	-	0	0	17
	計	120	73	14	0	9	50	23	2	9	71
作業療法学科	1	40	43	10	1	6	26	27	0	6	33
	2	40	37	3		0	34	-	0	0	26
	3	40	20	1		1	18	-	0	1	35
	4	40	22	0		0	22	-	0	0	18
	計	160	122	14	1	7	100	27	0	7	112
看護学科	1	80	94	8		3	83	74	0	3	77
	2	80	75	12		5	58	-	0	5	88
	3	80	72	1		1	70	-	0	1	59
	計	240	241	21	0	9	211	74	0	9	224
介護福祉学科	1	40	28	2		0	26	21	1	0	22
	2	40	39	0		0	39	-	0	0	26
	計	80	67	2	0	0	65	21	1	0	48
合 計		920	750	75	3	31	641	228	3	31	725

I -2 教職員数

	令和4年度 期初	令和5年度 期初
学院長	1	1
理学療法学科 専任教員	12	12
作業療法学科 専任教員	6	6
看護学科 専任教員	12	13
介護福祉学科 専任教員	4	4
国際介護学科 専任教員	1	1
デジタルソリューション学科 専任教員	-	1
事 務	13	13
法 人	8	7
合 計	57	58

II 年間行事实績

【作業療法学科/理学療法学科】

前期	4月	1日(金) 4日(月)~8月5日(金) 4日(月)~4月22日(金) 11日(月)~4月30日(金)	入学式/保護者会 前期授業開始 PT学科最終学年 実習Ⅱ OT学科最終学年 実習Ⅱ
	5月	16日(月)~7月9日(土) 23日(月)~7月16日(土) 23日(月)	PT学科最終学年 実習Ⅲ-1 OT学科最終学年 実習Ⅲ-1 学校法人創立記念日
	6月	11日(土)	第1回オープンスクール 後援会総会(コロナ禍の為に中止)
	7月	3日(日) 9日(土) 16日(土) 18日(月)~22日(金) 20日(水)~21日(木) 25日(月)9月17日(土) 25日(月)~9月24日(土) 25日(月)~8月6日(土) 25日(月)~8月5日(金)	第2回オープンスクール (OT2.3年)地域リハ.精神科評価実習SV会議 第3回オープンスクール 前期補講期間 最終学年 就職説明会 PT学科最終学年 実習Ⅲ-2 OT学科最終学年 実数Ⅲ-2 (OT3年)精神科評価実習 前期試験
	8月	6日(土) 15日(月)~26日(金) 21日(土) 22日(月)~26日(金)	第4回オープンスクール 前期再試験 第5回オープンスクール (OT3年)前期試験
	9月	5日(月)~10日(土) 12日(月)~17日(土)	PT学科(昼3年、夜2年)地域リハビリテーション実習 (OT1年)地域リハ実習(コロナ禍の為に一部学生、学内実習)
後期	9月	26日(月) 27日(火) 28日(水)~29日(木)	後期授業開始(1月12日(木)まで) 前期成績判定会議 最終学年 就職説明会
	10月	8日(土) 13日(火) 19日(水) 22日(土)	指定校・高校推薦入試 PT学科夜間部第1回オープンスクール 第6回オープンスクール 自己推薦A・社会人A入試
	11月	22日(火) 26日(土)	PT学科夜間部第2回オープンスクール 自己推薦B・社会人B入試 3年生保護者会(コロナ禍の為に、文章発送にて対応)
	12月	9日(金) 10日(土)	PT学科夜間部第3回オープンスクール 一般入試前期、自己推薦C・社会人C入試

	17日(土) 28(水)	第1回入学前セミナー (OT. PT. PTN合同) 冬期休暇(1月3日(火)まで)
1月	10日(火)13(金)~20日(金) 21日(土) 23日(月)~2月3日(金)	後期補講期間 一般入試後期、自己推薦D・社会人D入試 後期試験
2月	4日(土) 6日(月) 13日(月)~2月24日(金) 19日(日) 25日(土)	PT学科実習ⅡⅢ指導者会議 (Zoom) 卒業判定会議 後期再試験 第58回理学療法士・作業療法士国家試験 自己推薦E・社会人E入試
3月	3日(金) 7日(火) 10日(金) 14日(土) 14日(火) 25日(土) 29日(水)	卒業式 成績判定会議(1~3年) OT実習ⅡⅢSV会議 自己推薦F・社会人F入試 第2回入学前セミナー (OT. PT. PTN合同) 第7回オープンスクール 第3回入学前セミナー (OT. PT. PTN合同)

《令和4年度 看護学科 年間計画》

月 日(曜)	行 事	備 考(担当者)	月 日(曜)	行 事	備考(担当者)
4月			10月		
	* 始業3/29(火)	3年生	3日(月)	⑦7領域別実習開始	3年生
1日(金)	入学式(県立劇場)9:30	1年生	8日(土)	指定校・高校推薦入試	
	始業(13:30～)	2年生	22日(土)	⑥オープンキャンパス	1～2年生
5日(火)	①領域別実習開始	3年生	24日(月)	⑧領域別実習開始	3年生
			29日(土)	自己推薦・社会人A入試	
5月			11月		
2日(月)	新入生歓迎会(遠足)	1～3年	(4)(金)	宣誓式	1年生
9日(月)	②領域別実習開始	3年生		保護者会	1年生
13日(金)	看護の日	1～2年生	26日(土)	自己・社会人B入試	
23日(月)	創立記念日	1～3年生	29日(火)	実習「対象を知る」～12/2	1年生
31日(火)	実習「環境を知る」～6/1	1年生			
6月			12月		
6日(月)	③領域別実習開始	3年生	10日(土)	一般・自己・社会人C入試	
11日(土)	①オープンキャンパス	1～2年生	日()		
27日(月)	④領域別実習開始	3年生	日()	三者面談	1～3年生
7月			1月		
1日(金)	研修～2日(学内)	1年生	11日(水)	①領域別実習開始	2年生
3日(日)	②オープンキャンパス	1～2年生	21日(土)	一般・自己・社会人D入試	
16日(土)	③オープンキャンパス	1～2年生	日()		
20日(水)	基礎看護学実習Ⅱ～8/4	2年生			
8月			2月		
1日(月)	官報告示(国家試験)	3年生	1日(水)	②領域別実習開始	2年生
6日(土)	④オープンキャンパス	1・3年生	10日(金)	結団式(案)	1～3年生
19日(金)	⑤オープンキャンパス	1～2年生	12日(日)	第112回看護師国	
22日(月)	⑤領域別実習開始	3年生	25日(土)	自己・社会人E入試	
日()	ケース スタディ発表会	3年生			
9月			3月		
12日(月)	⑥領域別実習開始	3年生	日()	看護学科(お別れ会)	1～3年生
			3日(金)	卒業式(県立劇場)	1～3年生
			10日(金)	入学前セミナー	1・2年生(新1年生)
			14日(火)	合同実習指導者会議(10時)	

* 保護者会・三者面談:各学年にて企画

* 学科会議 (1/月)

【介護福祉学科】

前 期	4月	1日(金)	1年生	入学式
		4日(月)	1年生	新入生オリエンテーション
		4日(月)	1・2年生	前期授業開始
		27日(水)	1年生	健康診断
		28日(木)	2年生	健康診断
	5月	13日(金)	2年生	介護実習Ⅲ実習指導者会議
		23日(月)	1・2年生	学院創立記念日
		23日(月)～	2年生	介護実習Ⅲ
	6月	11日(金)		第1回オープンキャンパス
		～24日(金)	2年生	介護実習Ⅲ
		27日(月) 28日(火)	2年生	医療的ケア見学実習
	7月	2日(土)	2年生	2022 福祉の就職フェア
		3日(日)	留学生	JLPT(日本語能力試験)
		3日(日)		第2回オープンキャンパス
		14日(水)～21日(水)	1年生	前期試験
		8日(金)	1年生	介護実習Ⅰ実習指導者会議
		16日(土)		第2回オープンキャンパス
		25日(月)～	1年生	介護実習Ⅰ
	8月	～5日(金)	1年生	介護実習Ⅰ
		2日(月)～6日(金)	2年生	前期試験
		6日(土)		第4回オープンキャンパス
		19日(金)		第5回オープンキャンパス
		26日(金)	1・2年生	成績判定会議
後 期	9月	5日(月)	1・2年生	後期授業開始
		9日(金)	1年生	介護実習Ⅰ実習報告会
	10月	17日(月)～11月18日	2年生	介護実習Ⅱ
	11月	5日(土)	2年生	「介護の日」イベント参加
		12日(土)	1年生	介護実習Ⅱ中間登校日
		25日(金)	2年生	学力評価試験

	12月	2日(金)	2年生	介護福祉士会全国一斉模擬試験
		4日(日)	留学生	JLPT(日本語能力試験)
		19日(月)～23日(金)	2年生	後期試験
		23日(金)	1年生	年内授業終了 冬期休暇～1月3日まで
		26日(月)～28日	2年生	国家試験対策特別講座
	1月	4日(水)～27日(金)	2年生	国家試験対策
		5日(木)	1年生	1年生授業開始
		27日(金)	2年生	国家試験オリエンテーション
		29日(日)	2年生	第35回介護福祉士国家試験
	2月	6日(月)～10日(金)	2年生	医療的ケアの実践(集中講義)
		13日(月)～17日(金)	1年生	後期試験
		15日(水)	2年生	卒業判定会議
	3月	1日(水)	2年生	卒業発表会
		2日(木)	2年生	卒業式予行演習
		3日(金)	2年生	卒業式
		14日(火)	1年生	進級判定会議
		16日(木)～31日(金)	1年生	春季休暇

III-1 入学式

令和3年4月1日（木曜日）午前9時30分より新型コロナウイルス感染対策を施し熊本県立劇場において保護者、学院関係者のみで令和3年度の入学式が挙行された。作業療法学科16期生43名、理学療法学科16期生88名、理学療法学科夜間部

16期生26名、看護学科13期生86名、介護福祉学科11期生38名、国際介護学科5期生18名計299名が学院長の河野文夫より入学の許可を受けた。自治会長の岩橋由真が在校生を代表し歓迎の辞を述べ、新入生を代表して西上令葉が新入生代表宣誓を行った。



理学療法学科夜間部

学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院 令和3年度 入学式



看護学科

学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院 令和3年度 入学式



介護福祉学科



国際介護学科



宣誓式

日 時：令和4年11月4日（金）

10：00 開式

場 所：九州中央リハビリテーション
学院 1号館 講堂

対象学生：第14期生 84名

（男子学生4名、女子学生80名）

「宣誓式」その起こりは、近代看護の祖と言われる「フローレンス・ナイチンゲール」その人が所以である。我が国においては、「戴帽式」として長年執り行われてきた。儀式的印象が強く、現代ではそのあり方は多様化している。当学科では、昨年度より「宣誓式」と名称を改め、ひとの命の尊厳に基づき、その生業そのものに対する畏敬と決意を確固たるものにする機会として継承している。

厳かな雰囲気の中、「宣誓の儀」が行われた。緊張した面持ちの学生達一人一人が「看護の精神」である灯を頂き、ナイチンゲール誓詞を全員で唱和した。

また、「一、心豊かな人間性と、看護学生としての自覚と向上心を持ち、日々学び続け、知識・技術の向上に努めます。一、常に誠実に、看護学生として一人一人の生命にまっすぐに向き合い、責任ある行動をします。一、先輩たちから受け継がれてきた灯を大切に、看護師としての使命を全うできるよう、看護の心を育みます。

一、今のこの気持ちを忘れず、私達を支えて下さる方々への感謝の気持ちと探求心を持ち、努力していくことを誓います。」と自らの言葉で誓いをたてた。また、先輩からは「このナイチンゲールの灯りに込め

られた看護の精神と共に、この九州中央リハビリテーション学院看護学科で学んだ看護を誇りに、絆を育み共に学び続けましょう」と激励を受けた。

「新型コロナ感染拡大」世界的なパンデミックから早3年、医療（看護）・保健・福祉の分野で、また各界が挙ってこの猛威に果敢にも立ち向かい感謝の言葉もない。

一方、看護基礎教育の現場においては、「患者様」のもとに行けない看護学生達の辛さや嘆きの声がより一層大きくなっており、正直悔しくて仕方がない。しかしながら、「明るい未来はすぐそこに」と言わんばかりに、ともされた灯に映し出された学生達の凜とした表情からは、揺るぎない信念と希望が満ち溢れていた。

【介護福祉学科】

「1年生を振り返って」

12期生 藤本美咲

「私は将来介護福祉士になる」そう心に決めて福祉系の高校へ進学し、卒業後いよいよ夢を叶えることのできる専門学校へ入学しました。高校では知り得なかったことを学ぶことができ、毎日ワクワクしていました。7月からの初めての実習に向けて友人たちと演習や座学に必死に取り組み、万全の状態を実習初日を迎えました。ところが初日から自分自身のコミュニケーション力や実力の無さに打ちのめされてしまい自分は介護福祉士になんてなれない、向いてない、と思った時もありました。しかしそばで支えてくれる友人たちはみんな同じ夢を持つ仲間、みんなから沢山アドバイスをもらい、先生方からもご指導いただきながら、10月からの2度目の実習では、できることも増え、7月の実習で課題だったコミュニケーション力不足も、少しではありますが改善することが出来ました。実習の課題の一つでもある介護過程の展開では、介護計画の重要性を理解することが出来ました。支援内容によって利用者の生活の質は大きく変わります。将来、現場で介護計画作成に携わる機会がある際には十分に責任を持ち、利用者様と真摯に向き合うことが大切だということを学びました。これらの2回の実習の経験から、自信もついて、毎日意欲的に学習に取り組んでいます。また、アルバイトと学業の

両立は高校時代以上にきついです、同じ夢を持つ者同士励まし合いながら頑張ることが出来ています。個性豊かな友人たちに囲まれて毎日充実した日々を過ごしています。そして、2年生で行なわれる実習は学生生活最後の実習となります。何事も気を抜かず、これまでの集大成として、学びをより深めるように努めたいです。実習後に本格的に始まる国家試験対策や就職活動も、学業と上手く両立できるように精一杯頑張りたいです。そして笑顔で卒業式の日を迎えられるよう、夢を叶えるためにやると決めたことは最後までしっかりとやりとげるようこれからも頑張ります。

「2年間を振り返って」

介護福祉学科2年 藤川智昂

入学してから卒業まで講義や、実習、国家試験があり、アッという間に2年間という時間が過ぎました。コロナ等があり大変なことはたくさんあったが、友達と共に乗り越えることができました。1年生では、新しい環境でとても不安な中、学校生活を通してたくさんの友達ができました。初めての实習では実際に施設に行き、現場の大変さ、介護の楽しさを学ぶことができました。これから自分たちが働いて本当にやっつけられるか不安になりました。しかし先生たちや先輩たちの指導の下2年生に進級することができ、2年生のときには早く現場で実際に働いてみたいという希望が湧いてきました。2年生では国家試験という2年間で1番大切な試験があり勉強はと

でも苦勞しました。学校の友達と教え合いながら勉強をしました。教え合うことで実際に働いた時に他職種と連携をしながらサービスを提供することやスタッフ同士のチームワークの練習につながったと思います。2年間コロナ禍で大変だったからこそいい経験になったと思います。そして無事卒業を迎えることができました。2年間学んだ事を仕事に活かし自分自身の能力向上に努めます。

【理学療法学科昼間部】

「1年生を振り返って」

昼間部2年 宮元 夏希

私がこの学院に入学して、1番感じた事があります。それは凡事徹底の大切さです。私たちが入学前のオリエンテーションで17期生のクラス目標は凡事徹底と言われました。その時に担任の中山先生と平田先生が当たり前のことを当たり前にする、体調報告などの小さなことでも毎日しっかりと行うこと、当たり前の方ができる人は国家試験にしっかりと合格しているが、出来ない人はどこかで躓いている。という言葉聞いてより一層気を引き締めていこうと思いました。また、高校生のうちに勉強をするという癖がついていなかったため、テスト前に莫大な量の知識を覚えることにとても苦労しました。しかし、前期のテストが終わってから、1番最初に先生方の凡事徹底という言葉を出し、勉強もテスト前だけじゃなく毎日コツコツ続けることの繰り返しでテスト前の大変な思いをしなくて済むかと思いました。その時に当たり前の方ができる人は国家試験に受かっているという言葉の意味が少しわかったような気がしました。

前期が終わり、後期から少しずつ家で勉強するようになり1日1日の勉強の積み重ねを大切にしてきました。そしていざ後期のテストを受けてみると、やはりテスト前になると大変だけど前期よりもすんなり勉強することができたような気がします。テストが終わり、いざ結果を見てみると前期よりも順位が上がっていて勉強のやり方も分かってきて、これからもしっかりと勉強を続けていこうと思いました。

入学する前まで何にも考えずに聞いてきた凡事徹底というたった4文字の言葉の中には自分を国家試験の合格に導いてくれる深い意味があるような気がします。また、その意味に1年生で気づくことができ、これからも凡事徹底という言葉のを心に置いて理学療法士の国家試験に合格できるように頑張りたいです。

「2年生を振り返って」

昼間部3年 作田真也

2年次の学業面では主に疾患の勉強や筋や骨の触察、動作分析など、より理学療法士として専門的な知識や技術を学びました。疾患の勉強ではこれまで聞いたことのない用語や、外見ではわからない神経の分野での理解に苦しみましたが、何度も教科書を読み直したり、それでもわからない箇所は先生に質問をするなどし、知識の定着に努めました。疾患を勉強する上では1年次に学習した内容がベースになっており、理解できなかったことを放っておくのではなく、わかるまで努力することが大切だと感じました。実技の授業では入学前から気になっていた体表解剖学が始まりました。授業の最初の方ではランドマークを実際より大きく取ってしまったり、筋の走行がズレたりするなどうまくいかないことが多かったです。そこで放課後や空き時間などを有効活用し、クラスメイトや担当の先生方にも手伝ってもらいながら何度も繰り返し練習を行いました。回数を重ねるごとに正確性やスピードも上がり自信を持って筋を触察できるようになりました。1人では難しいことがクラスメイトとともに助け合いながら学べたことは、この1年間の成長であり自信にも繋がりました。これから多くの困難に直面することもあると思いますが、この経験を活かして乗り越えて行きたいです。3年生からは実習が始まります。これまでの2年間、学院の中で学んだこと、経験したことを活かしながら更に成長できるように「九州中央リハビリテーション学院の学生として」、そして「理学療法士を目指すものとして」の誇りを持ち、高い意識を持って頑張っ行って行きたいと思っています。

「3年生を振り返って」

昼間部4年 井野ひより

3年生では症例に対するゴール設定やプログラム立案など、実践的な課題に取り組む機会が多くなりました。講義の中で学習する内容も臨床に即したものと1・2年次の解剖生理学の知識を応用したものなど、より専門的で難易度の高いものになったと感じました。また、初めての実習である地域リハ実習を経験し、更に学習への熱量を高めた1年だったと思います。その中で特に大切だと感じた事はコミュニケーションと復習の2つです。1つ目のコミュニケーションについては、3年次ではグループ活動で課題に取り組むことが増えたためその中で連携が必要不可欠でした。他人任せな考え方や自己中心的な取り組み方ではいいものを作ることはできません。様々なツールを用いつつ、協調性を持ってコミュニケーションをうまくとっていきことで円滑に課題を進めることができましたと感じています。また、地域リハ実習では難聴などによってうまくコミュニケーションを取ることが難しい利用者様と関わらせていただく機会もあり、大きな声でゆっくり話すなどの様々な工夫を凝らしました。これらは理学療法士として働く時も患者様と関わる際や他職種の方と情報を共有する際に重要であるため身につけるべき事であると感じました。2つ目の復習については、3年次の講義は1・2年生で習った内容が重要になってくる部分もあるため、その都度復習する必要性がありました。覚える量もかなり多かったため、講義の中で理解することも大切ですが、その後しっかり復習して定着させることも重要であると感じました。

4年生では臨床実習、就職活動、国家試験を控え、これまで以上に多忙を極める1年になると思います。3年間で学習したことや身につけたものを活かすクラス全体で支え合いながら、全員が国家試験に合格できるように頑張っていきたいです。

「4年生を振り返って」

卒業生(昼間部14期) 南太陽

私にとって4年生は、あっという間に過ぎた1年間でした。4月から始まった臨床実習で

は、初めての病院の活動で右も左もわからない状態であったため、すごく緊張していたことを今でも覚えています。この臨床実習を通して大変だったことは、患者様の評価から統合と解釈を行い、治療プログラムを立案することです。しかし、日々、患者様のことを考え、治療を実施する中で、少しずつ回復していく姿や、患者様の笑顔や感謝の言葉は、日々の努力の原動力となり、理学療法士としてのやりがいや素晴らしさに気づくことができました。さらに、挨拶や礼儀など、社会人としてのマナーも学ぶことができた臨床実習となりました。

臨床実習後は、すぐに国家試験勉強が始まりました。10月から、勉強漬けの日々で、今までに感じたことのない様なストレスや国家試験合格というプレッシャーを感じました。勉強の範囲も膨大で、どの様に勉強していいのかわからない時期もありました。しかし、先生方や一緒に国家試験に挑む仲間、家族に支えられ、無事に現役生全員が理学療法士国家試験に合格し、有終の美を飾ることができました。この経験は、私の人生においての大きな成果の一つとなり、4年間の学びや経験が実を結んだ1年間となりました。今後、臨床実習や国家試験期間を通して学んだことを理学療法士として、臨床に活かし地域の医療ニーズに合わせた適切な理学療法を提供し、患者様の生活の質の向上や健康維持に貢献して行きたいと思っています。

「一年生を振り返って」

夜間部2年 濱 泰祐

一年間を振り返ってみて学校生活、私生活と共に学びが多くとても充実した一年間を過ごせたと感じます。しかし入学前には不安が2つありました。一つ目は勉強についていけるかで、二つ目はクラスの雰囲気や他の生

徒とコミュニケーションをうまくとれるかでした。

勉強面では専門用語が多くて覚える内容も範囲が広く、身体の構造や機能以外にも法律であったり倫理的な内容まで覚えるのに苦労しました。しかし、各授業の先生方の資料がわかりやすく作成されていたり、質問には丁寧に納得いくまで説明していただけてとても助かりました。後半からは実技の授業も増えてきて難しいながらもとても楽しく勉強になりました。また、クラスも明るく活気があって自分が話しかけても普通に返事を返してくれるし、相手からも声をかけてくれるしすぐに不安も解消されました。それに授業でわからなかった内容も気軽に教えあったり試験前には一緒に勉強しあって、時にはプライベートの話もしたりと時間の経過とともにどんどん学校生活楽しく過ごせました。

私が入学前に感じた勉強面、人間関係面の不安はすぐに解消されてストレスなく学校生活、私生活過ごせています。それも教員の方々のサポートやクラス人たちとの出会いがあったからだと思います。改めて人との出会いには「感謝」だと感じました。この繋がりに「感謝」しながら今後も頑張っていきたいと思っています。

2年生では、主に1年時の基礎医学をベースとした疾患学の授業が増え、疾患ごとの評価法や検査測定、ゴール設定、治療プログラムの立案、考察などの臨床に近づいた内容を学ぶことが増えました。また、2年生になりグループワークが中心となり、それぞれが持つ知識や経験を共有し、意見を出し合うことで自身に不足していたコミュニケーションスキルやリーダーシップ能力の向上などのスキルアップに繋がりました。また、夜間部は幅広い年代で構成されており、それぞれ得てきた知識量や見てきた景色なども違っているため、グループワークを通して自分の知らない知識や見えなかった考え方、気づきなどの新しい発見を沢山することができ、「人との関わり方」というものを再確認できる良い機会でした。

現在、3年生になり評価実習を終え、長期実習へ向けて取り組んでいます。評価実習では、実際に臨床を経験してみて、自分に不足しているものや苦手なものなどを明確に出来ました。一方で自分の強みやよく出来たことも気づくことが出来たため、自分の良い点は伸ばし、不足していた点は改善していき、これからの長期実習や就職活動、国家試験に励んでいきたいと思っています。

この1年間、出逢いや別れ、楽しい思い出もあれば気持ちが沈むようなこともありました。が、クラス目標でもある「同心協力」の下、先生やクラスメイト一丸となってここまで乗り越えられてきたことを誇りに思います。

残りの限られた日にちを感謝の気持ちを持って有意義なものにしていきたいです。

「夜間部3年生を振り返って」

卒業生(夜間部15期) 川副千空

最終学年となり、実習に国家試験と休みのない1年でした。実習では暗記すればよかった授業の内容が、実践として使われることを改めて感じました。特に解剖学運動学生理学がベースとなり、授業内容を思い出したり、調べなおすことが多かったです。臨床にでると習っていないことも教えていただいたり自分で教科書や文献を探ることが多く、毎日勉強不足を感じてい

「夜間部2年生を振り返って」

夜間部3年 中川侑哉

新型コロナウイルス感染症の影響は、ワクチン接種が広く普及した事や経済活動・教育活動の再開などの社会全体の対応の変化により、徐々に社会が復活して明るい兆しが見えてきた一方、まだまだ感染拡大のリスクが懸念される為に引き続き感染症対策に取り組んできた1年でした。

ました。また、授業と臨床での違いを感じ悩むこともありました。しかし、わからないことを積極的にバイザーに質問したり、実際に調べたことで自分自身の知識ともなりますが、国試対策期間にも役立つのだと感じました。クラスの中でも実習のレポートや調べ学習を多くしていた人とそうではない人では国試対策期間で行う模試に差が大きくありました。解剖学、運動学、生理学は復習すれば点数の伸びがあるため取りやすいですが、専門の内容は実際に臨床現場で手術だったり、レントゲン、MRIなどと患者様の病態を学んでいないとなかなか上がらないと感じました。私自身も、イメージが湧きにくいため専門の内容での点数の伸びが感じられませんでした。この一年はとても苦しいとは思いますが、実習での理解を深めることは国家試験合格につながると感じました。

2年間を振り返って

看護学科2年 枋原 紗更

いよいよ、最終学年3年生が目前に迫りました。先生方から言われていた「3年生は、同じ看護学生でも看護が大きくなり、学生が小さくなる」この言葉がとても大きく響いています。

そして、あらためてこれまでの看護学生としての2年間を振り返ってみると、病院や施設で実習をさせて頂ける有難さをとても実感しています。「新型コロナウイルス感染拡大」の影響により臨地での実習ができず、学内実習を経験しました。臨地を想定し、先生方の力をお借りし、模擬患者で自分達なりに一生懸命に努力しました。しかし、なかなか患者様のイメージがつかず、また援助も広がりがなく、難しいばかりでなく手応えも薄く感じました。やはり、対象理解や個別性のある看護を学ぶ上で重要なことは、臨地という貴重な場で自分の五感をフルに使い、直接患者様との関わり等経験する事に尽きると感じました。また、看護師の関わりを直接見せて頂いたり、一緒に関わらせて頂く事が未熟であっても看護学生としての自己の自信に繋がっていく氣もしました。

実習中の「失敗して、許されるのは学生のうちのみ。患者や入居者にとっては看護師になれば新人もベテランも関係ない。」という指導看護師の言葉が心に残っています。残り1年間で看護学生から、新人看護師に成らなければなりません。この言葉から、一般的な知識や技術を基盤とし、対象者にあった個別性のある看護を展開するためには、臨地実習の中でたくさんの患者様と出逢い、看護師はもちろんのこと患者様から多くの事を学ぶ姿勢を持ち続けることまた、プロになるという自覚を育てることが大事

だと考えました。失敗を経験するためには、行動を起こさないといけません。しかし、同じ失敗を繰り返しては学んだことにはなりません。更に、1人の患者様と長く関われるのは、学生の今だけです。その意味を重く受け止め、残り1年という学生生活のすべてにおいてより積極的に取り組み、多くの経験を積み重ねながら学び「新人看護師」というプロに近づけるよう頑張りたいと思います。

1年生を振り返って

看護学科1年 米原 智也

私は、平等に相手を思いやり、氣遣えるという自身の穏やかな性格と9年間野球で培った体力と継続力を活かし、必ず必要とされる看護師になるために「九州中央リハビリテーション学院」に入学しました。入学当初は、男子学生が少なく自分はやっていけるのだろうか、馴染めるのだろうかと不安しかなく、先生方やクラスメイトの前では大人しく過ごしていた氣がします。そのような中、困難な事や判断に迷った時にはいつでも相談にのってもらえる同級生の仲間ができ、その仲間と共に前に進んで来れました。素晴らしい環境の下での学校生活はとても充実していましたが、重たい教科書を抱えての通学、ハードな時間割での難しい授業、山のように出た課題や頻繁に行われる筆記試験の学習にもとても戸惑いました。また、何度も繰り返し練習して挑んだ技術試験でしたが、緊張で頭が真っ白になり上手くいかず落ち込んだりと、心身共に一杯になることもありました。しかし、「看護師に成る」という強い氣持ちと、やはり仲間の支えで乗り越えることができたように思います。病院での実習も初めての

事ばかりでしたが、患者様や指導看護師との関わりや医療現場を体験した事で、日々の自分の行動や授業での先生方の一言一言を聞く姿勢が自分の中で大きく変化しました。学院の先生方はとても熱心で優しく、分からないことは分かる迄指導頂き内面的な部分も見ながら的確な指導を頂いています。

この1年間の授業や実習を通して、「看護とは、患者様の事を様々な視点から捉え、気持ちを汲み取り、目配り気配りをしながら安全な療養環境のもと、その人らしい生活ができるように個別性のある援助を行うこと」これが私が今考えている看護です。コロナ禍で私達実習生を引き受けて下さった病院の方々、この学院で出逢えた先生方やクラスメイト、関わってくださるすべての方々に感謝の気持ちを忘れずに前進していきたいです。この1年間を通して得た多くの学びや自己の課題を見つめ直し、目標とする急性期看護から地域・在宅看護迄幅広い医療に携われる看護師になるため、これからも一生懸命に学業に励み、学びを深めたいと考えています。

III-5 ボランティア活動

学生自治会のボランティア委員会、介護福祉学科ボランティアサークルクローバーを中心に積極的にボランティア活動を行っております。

新型コロナウイルスの影響で依頼も少なく、ほとんど活動できない状況でした。

	日程	活動場所	活動内容	参加者
1	7月23日	株式会社熊本シティエフエム	チットチャット 介護ラジオ出演	2名
2	9月14日	株式会社熊本シティエフエム	チットチャット 介護ラジオ出演	2名
3	11月6日	熊本県民交流館 パレア	介護の日 会場設営	8名

「1年生を振り返って」

作業療法学科 1年 松野輝龍

私は昨年、九州中央リハビリテーション学院に入学し、たくさんの新しい友人たちと出会い、力を合わせながら作業療法士になることを目標に日々頑張っています。コロナ禍で思うようにいかないこともありましたが、1年間を通して頑張ったことが3つあります。

1つ目は、クラスのリーダー(級長)としてクラスをまとめたことです。私はこれまでリーダーなどみんなをまとめる役割を経験したことがなく、まとめられるか最初は不安でした。しかし、副級長や仲の良い友人、先生などのサポートでクラスをまとめることができました。2年時でも引き続き級長として頑張っていきたいです。

2つ目は、勉強面です。高校時代勉強が得意ではなく、入学して授業内容を理解できる自信がありませんでした。クラスのみならず一生懸命勉強に取り組んでいました。それを励みに、私自身も帰宅後、授業の復習を頑張りました。その結果、小テストでは高得点を取り、本試験でも後悔のない結果を出せることができました。

3つ目は、欠席をしないことです。これまで、体調管理をすることが苦手で、高校時代は学校を休むことが多々ありました。しかし、専門学校への入学後は、作業療法士になるという強い意志のもと、毎日体調管理を心がけ欠席しないように頑張っています。2年生になると様々なイベントなどが増えるかと思います。そこで忘れてはいけない事はやはり、勉強です。レポート作成も増え 体表解剖学や、身体障害評価学などの授業を通して一年生で習ったことが基礎となる科目が増えてきます。地域

実習も控えています。初めての实習で、ドキドキしていますが、体調管理に気を付けながら実際に医療の現場に立って、新たな学びや経験を得ていきたいです。

これから、級長としてクラスみんなが進級することを小さな目標に頑張っていき、クラスの友人たちと力を合わせて国家試験合格への大きな目標に向かって歩んでいきたいと思えます。

2年間を振り返って

作業療法学科二年 中尾雄真

九州中央リハビリテーション学院に入学してから、丸二年が経ちました。

入学した最初は知り合いもおらず、ゼロからのスタートでした。初めは専門的な学習内容や友人作りに苦戦をしていました。私は積極的な方ではないですが、多くの友達も出来、時間が経つにつれ専門的な知識もつきました。

この九州中央リハは、多種多様な人が入学してきます。工業高校からの入学や四年間ニートをしていたおっちゃん（実際には四歳しか変わりませんが...）なども入学して来ました。ですが、この多種多様な人が多いおかげで、今までにない考えや、多くの人脈を作ることができました。今ではこの二人も良き友人で、充実した生活を送ることができました。

学習の面では、初めての内容で苦戦することが多かったのですが、友人や先生方との勉強のお陰でとても良い順位とは言えませんが、少しずつ覚えていくことが出来ました。先生方もユーモア溢れる方々が多く、楽しい授業で勉強に取り組むことが出来ました。

一年生も終わり、二年生が始まりました。ここで学校を辞める人、もう一年同じ学年を送る人など、様々な道に進むことになりました。寂しい気持ちはありましたが、気持ちを切り替えて新たなスタートを切ることができました。

二年生では一年生と違い学習内容もレベルが上がりさらに専門的な知識が必要となりました。学院生活にも慣れ、勉強とバイト、遊びを上手くバランスをとりながら生活をできるようになり、より充実した生活を送れるようになりました。

私達はコロナ禍の中での関係であり、学科同士の交流はほぼありませんでしたが、先生のお心遣いがありクラス内でのバレーボール大会がありました。普段あまり交流のない人とも話す機会ができ、よりクラスの仲を深めることができました。1、2年生は専門的な知識を身につけ

るために勉強はとても大変ですが、同じ目標を持つ仲間や親身になってくれる先生方が居るので絶対乗り越えられます。

三年生になり、二週間の精神科実習が控えていますが一、二年生で身に付けた知識や経験をその実習で生かし、一歩一歩作業療法士という目標に近づけるよう頑張っていきます。

「3年次を振り返って」

作業療法学科4年 大塚可南子

3年次は今までに比べより専門的となり、班活動を通して問題を解決するための進め方を学ぶことができた。作業療法士は他職種との連携が必要となる為、今回の班活動はとても良い経験となった。

2週間実施した精神領域評価実習では、コロナ禍の影響で行動制限があったが、病棟でのSSTへの参加や病棟ごとの活動で担当患者様以外とのコミュニケーションを積極的に行い、自ら話しかけてくださる方、こちらからの質問に対して回答を述べそこから話し始めてくれる方に傾聴を意識しながら対応した。一方で、指導者とのコミュニケーションが少なく、消極的で計画性もなかった為、情報収集が不十分な状態で実習を終えることとなった。自分の行動を指導者に報告し相談することで実習での学びが多くなると感じた。4年次の実習では反省を繰り返さないよう改善していきたい。

学院外では不登校支援のボランティア活動に尽力した。他大学のボランティアと協力し、自分たちで内容を企画した。活動前に支援方法の研修を行い、講師として作業療法士に依頼するために講師へ企画内容の説明や打ち合わせを行うなど、研修の運営を代表として行なった。そして、学院内でボランティア希望者を募り活動についての説明も実施した。この経験で企画の準備が大切であり、企画説明の難しさを感じたが、参加している小学生が初めての場所に緊張していたのが活動に参加しているうちに笑顔が増え、帰り際に楽しかったと感想を述べていたのを見て喜びを感じた。ボランティア活動に参加することで人間関係の広がりを実感し、実施後には反省会を行うことでさらに自分の考えの幅を

広げることができた。今後も様々なボランティア活動へ参加し、この経験を実習や就職後にも役立てていきたい。

また、入学前から興味があった自治会活動に参加したが新型コロナウイルス感染症の影響で活動がなく、役員会議のみで活動が終わってしまったことは心残りである。4年次はとても忙しい1年になると思うがクラス全員が笑顔で卒業できるよう頑張りたい。

4年生を振り返って

作業療法学科 渡邊亜紗美

九州中央リハビリテーション学院作業療法学科4年生として、私が過ごした1年間を振り返ってみると、臨床実習や就職活動と並行しながらの国家試験勉強など楽しいことばかりではなく、厳しい経験も幾つかありました。

臨床実習では、これまで学習した内容が広範囲に渡って必要である上に、教科書通りではない対象の方がほとんどであったため、分からないことだらけの日々でした。評価や治療、患者様とのコミュニケーションもぎこちなく、上手く評価や情報収集ができないなど悔しい思いも多くありました。その様な中でも、患者様から「ありがとう。頑張ってるね。」と言葉を頂けたときは大変嬉しく、努力してよかったと感じたことが印象に残っています。臨床実習を通して、身体機能の向上はもちろん患者様が日常生活の中で感じていた生きがいや習慣を知り、退院後もリハビリが継続できるよう支援することが作業療法士として大切だということを学ぶことができました。

国家試験勉強では、通学時間やグループ学習を自分の生活スタイルに合うように活用し、模試などの成績を分析して次の模試まで対策を行うことが大切だと学びました。しかし努力が結果に結びつかず、焦りや不安を感じることも多くありました。友人と声を掛け合い、先生方に相談しながら不安を少しずつ解消し、この期間を乗り越えていきました。合格という結果を得ることができたのも、家族や先生方、友人の支援のおかげであると感謝しています。

この1年間は慣れない環境で大変なこと

が多くありましたが、その分多くの経験や学びを得ることができ、無事卒業できたことは自分の中で大きな出来事になりました。また友人たちとは卒業後も悩みや経験を共有できる関係であり、そのような仲間を作ることができたことも九州中央リハビリテーション学院に入学して良かったと感じることのひとつです。

今後、この1年間で得たことを活かし作業療法士として患者様に寄り添い、患者様の生活を大切にできるよう自分自身を常に成長させ、社会に貢献していきたいと思えます。

V 学生生活

V-6令和4年度就職説明会(理学療法学科・作業療法学科)県外オンライン 県内来校型

日時:7月20日・21日・22日 9月28日・29日・30日 15時～17時

場所:九州中央リハビリテーション学院1号館

参加施設

都道府県	施設名	都道府県	施設名	
熊本	くまもと成仁病院	千葉	タムス浦安病院	
	くまもと南部広域病院		らいおんハート内科整形外科リハビリクリニック	
	にしくまもと病院		安房地域医療センター	
	はまゆう療育園		季美の森整形外科	
	リバーサイド御薬園		亀田総合病院	
	リハセンターひばり		松戸リハビリテーション病院	
	リハビリセンターsmile-スマイル-光の森		千葉徳洲会病院	
	阿蘇温泉病院		富家千葉病院	
	医療法人すえひろ会		令和リハビリテーション病院	
	介護老人保健施設新清苑		神奈川	ソクイ
	株式会社くますま	横浜鶴見リハビリテーション病院		
	株式会社SENSTYLE	海老名総合病院		
	菊南病院	西横浜国際総合病院		
	弓削病院	鶴巻温泉病院		
	熊本セントラル病院	大阪府	さくら会病院	
	熊本機能病院		森之宮病院	
	熊本整形外科病院		医誠会病院	
	熊本託麻台リハビリテーション病院		岸和田リハビリテーション病院	
	御幸病院		株式会社アクティブ	
	江南病院	京都府	青山メディカルグループ	
	済生会熊本病院		京都リハビリテーション病院	
	桜十字熊本宇城病院		京都大原記念病院グループ	
	桜十字八代リハビリテーション病院		洛和会ヘルスケアシステム	
	桜十字病院	和歌山県	紀和病院	
	山口病院	福岡県	福岡みらい病院	
	山鹿温泉リハビリテーション病院		リカバリーセンターひびき	
	人吉リハビリテーション病院		運動療育センターKiitos	
	杉村病院		顔田病院	
	聖ヶ塔病院		久恒病院	
	西日本病院		国際医療福祉大学・高邦会グループ	
	青磁野リハビリテーション病院		社会保険大牟田天領病院	
	大阿蘇病院		新古賀病院	
	朝日野総合病院		誠愛リハビリテーション病院	
	天草セントラル病院		福岡新水巻病院	
	天草慈恵病院		佐賀県	にしかわ整形外科クリニック
	嶋田病院		大分県	佐賀関病院
	武蔵ヶ丘病院			大分中村病院
	平井整形外科リハビリテーションクリニック		長崎県	長崎リハビリテーション病院
	悠紀会病院	社会医療法人財団 白十字会		
	有明成仁病院	長崎北病院		
	東京	医療法人社団輝生会	鹿児島県	今村総合病院
		医療法人社団福寿会		種子島医療センター
五反田リハビリテーション病院		八反丸リハビリテーション病院		
初台リハビリテーション病院		医療法人クオラ		
総合東京病院		沖縄県	青雲会病院	
東京さくら病院			西崎病院	
東京ちどり病院	埼玉			
イムス三芳総合病院				
イムス富士見総合病院				
戸田中央メディカルケアグループ				
埼玉ロイヤルケアセンター				
富家病院				
柳原リハビリテーション病院				

【理学療法学科 昼間部・夜間部 作業療法学科】

令和4年度の卒業生は理学療法学科昼間部34名、夜間部13名、作業療法学科22名の計69名であった。
それに対し、総求人件数は499件、総求人数は3,371名であった。

【求人状況】

地域	県別	求人件数	求人数	
九州	熊本	112	325	
	福岡	64	244	
	長崎	15	74	
	佐賀	9	18	
	大分	22	80	
	宮崎	11	23	
	鹿児島	22	92	
	沖縄	7	49	
	262件 905名			
四国	愛媛	2	2	
	徳島	1	150	
3件 152名				
中国	山口	5	12	
	広島	11	50	
	岡山	1	6	
	島根	1	1	
	18件 69名			
近畿	和歌山	2	15	
	奈良	5	18	
	兵庫	11	80	
	大阪	30	375	
	京都	12	133	
	三重	1	1	
61件 622名				
東海	愛知	3	9	
	静岡	6	83	
9件 92名				
北信越	福井	1	6	
1件 6名				
関東	神奈川	31	266	
	東京都	51	601	
	千葉	29	301	
	山梨	2	17	
	埼玉	20	250	
	茨城	4	35	
	栃木	1	2	
	群馬	1	8	
	3件 16名			
	東北	岩手	2	14
宮城	1	2		
3件 16名				
北海道	北海道	3	29	
3件 29名				
合計		499	3,371	

【就職先】

作業療法学科		
県別	就職先	
熊本	くまもと心療病院	
	熊本セントラル病院	
	悠紀会病院	
	人吉リハビリテーション病院	
	天草セントラル病院	
	桜十字八代リハビリテーション病院	
	聖ヶ塔病院	
	熊本整形外科病院	
	江南病院	
	杉村病院	
	西日本病院	
	にしくまもと病院	
	熊本機能病院	
	よもぎクリニック	
	くまもと成城病院	
	東京	明理会東京大和病院
	山口	周南リハビリテーション病院
福岡	社会福祉法人あきの会	
理学療法学科 夜間部		
県別	就職先	
熊本	桜十字八代リハビリテーション病院	
	上代成城病院	
	有料老人ホーム メディケア癒し	
	熊本機能病院	
	九州記念病院	
	武蔵ヶ丘病院	
	山口病院	
	せんだメディカルクリニック	
	デイサービスちひろ	
	福岡	社会福祉法人あきの会
鹿児島	菊野病院	

理学療法学科 昼間部		
県別	就職先	
熊本	桜十字熊本宇城病院	
	熊本セントラル病院	
	有明成仁病院	
	やざわ整形外科クリニック	
	山鹿温泉リハビリテーション病院	
	整形外科桜木クリニック	
	天草セントラル病院	
	峯苔医院	
	桜十字八代リハビリテーション病院	
	聖ヶ塔病院	
	かみくまクリニック	
	青磁野リハビリテーション病院	
	竹下外科整形外科医院	
	成尾整形外科病院	
	西日本病院	
	済生会熊本病院	
	くまもと成城病院	
	東京	講道館ビルクリニック
	東京	東京スポーツ&整形外科クリニック
	埼玉	リハビリテーション天草病院
神奈川	戸塚共立第2病院	
神奈川	池田整形外科	
愛媛	天山病院	
福岡	福岡新水巻病院	
	国際医療福祉大学・高邦会グループ	
	穂波整形外科医院	
	医療法人 福岡桜十字	
福岡	福岡みらい病院	
鹿児島	クオラリハビリテーション病院	
	鹿児島中央整形外科スポーツクリニック	

【看護学科】

令和4年度の卒業生は70名であった。
それに対し、総求人件数は202件、総求人数は3,897名であった。

【求人状況】

地域	県別	求人件数	求人数
九州 117件 1,285名	熊本	62	461
	福岡	29	599
	長崎	5	72
	佐賀	2	2
	大分	7	59
	宮崎	5	12
	鹿児島	7	80
	四国	香川	1
中国 8件 113名	広島	7	73
	鳥取	1	40
近畿 24件 595名	奈良	1	120
	兵庫	6	245
	大阪	11	132
	京都	6	98
東海 7件 276名	愛知	3	66
	静岡	3	185
	岐阜	1	25
関東 44件 1,593名	神奈川	15	570
	東京都	18	624
	千葉	5	305
	埼玉	5	39
	栃木	1	55
北海道 1件 30名	北海道	1	30
合計		202	3,897

【就職先】

県別	就職先
熊本	熊本セントラル病院
	くまもと県北病院
	荒尾市民病院
	山都町包括医療センターそよう病院
	人吉医療センター
	熊本総合病院
	桜十字八代リハビリテーション病院
	桜が丘病院
	慈恵病院
	福田病院
	くわみず病院
	熊本託麻台リハビリテーション病院
	くまもと森都総合病院
	熊本医療センター
	熊本大学病院
	杉村病院
	熊本地域医療センター
	熊本赤十字病院
	西日本病院
	桜十字病院
	平成とうや病院
	熊本中央病院
	弓削病院
	熊本機能病院
武蔵ヶ丘病院	
東京	国際医療福祉大学三田病院
	東京女子医科大学病院
	板橋中央総合病院
埼玉	新久喜総合病院
	上尾中央総合病院
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院
愛知	名古屋徳洲会病院
福岡	八木病院
	原三信病院
	福岡徳洲会病院
長崎	愛野記念病院
	池田病院
宮崎	宮崎医療センター病院
鹿児島	米盛病院

【介護福祉学科】

令和4年度の卒業生は39名であった。
それに対し、総求人件数は227件、総求人数は732名であった。

【求人状況】

地域	県別	求人件数	求人数
九州 144件 304名	熊本	103	202
	福岡	31	68
	佐賀	1	5
	長崎	2	8
	大分	4	16
	鹿児島	3	5
中国 12件 39名	岡山	2	15
	広島	3	8
	山口	7	16
近畿 27件 133名	兵庫	5	76
	大阪	17	43
	京都	4	13
	奈良	1	1
東海 12件 20名	愛知	12	20
北信越 1件 8名	福井	1	8
関東 27件 213名	千葉	1	5
	神奈川	14	137
	東京都	11	68
	埼玉	1	3
東北 4件 15名	青森	3	5
	山形	1	10
合計		227	732

【就職先】

県別	就職先	
熊本	障がい者支援施設 高森寮	
	フォーシーズン	
	社会福祉法人 千寿会	
	特別養護老人ホーム つつじ山荘	
	介護付有料老人ホームつどいの杜	
	障害者支援施設 くぬぎ園	
	特別養護老人ホーム 桜の丘	
	グループホーム潤	
	特別養護老人ホーム 輝祥苑	
	友愛会銀杏寮	
	ゆたか学園	
	医療法人 金澤会	
	社会福祉法人 リデルライトホーム	
	社会福祉法人ゆりえ会	
	介護老人保健施設 フォレスト熊本	
	医療法人起生会 表参道吉田病院	
	有料老人ホーム 江南の杜	
	くまもと成仁病院	
	特定非営利活動法人 あやの里	
	社会福祉法人明芳会	
	株式会社 山茸	
	社会福祉法人 熊本市社会福祉事業団	
	介護老人保健施設 清雅苑	
	特別養護老人ホーム くわのみ荘	
	特別養護老人ホーム 天望庵	
	有限会社 誠心会	
	特別養護老人ホーム みなみ園	
	東京都	初台リハビリテーション病院

III-7 卒業式・学生表彰

令和4年3月4日（金曜日）新型コロナウイルス感染防止対策を施し、保護者、学院関係者が見守る中、熊本県立劇場にて卒業式が挙行された。作業療法学科 13 期生 28 名、理学療法学科 13 期生 37 名、理学療法学科

夜間部 13 期生 21 名、3 年課程の 14 期生 30 名、看護学科 11 期生 64 名、介護福祉学科 10 期生 17 名、国際介護学科 5 期生 17 名の計 214 名に対し卒業証書を授与した。また関係団体等から表彰が授与された。

（表 1）

学生表彰（表 1）	作業療法学科	理学療法学科	理学療法学科 夜間 4 年課程	理学療法学科 夜間 3 年課程	看護学科	介護福祉学科	国際介護学科
全国リハビリテーション 学校協会「優秀賞」	小山 航	濱田菜々美	福岡和也	橋本佳奈	🌸	🌸	🌸
日本理学療法士協会 「優秀賞」	🌸	三宮 楓	嶋谷和真	片瀬功規	🌸	🌸	🌸
日本作業療法士協会 「優秀学生証」	本村好空海	🌸	🌸	🌸	🌸	🌸	🌸
日本介護福祉士養成施設 協会「会長表彰」	🌸	🌸	🌸	🌸	🌸	兒玉吉貴	🌸
財団法人職業教育・キャリア 教育財団「学習者表彰」	清水美希	横山凜央	田川和幸	久保田真理	井手彩月	成瀬朋子	ニマーシャ・ チャトゥランギ
九州作業療法士学校連絡 協議会「学業優秀賞」	田中瑠奈	🌸	🌸	🌸	🌸	🌸	🌸
熊本県専修学校各種学校 連合会会長表彰	高本紗弥加	松崎春花	磯部雅子	東 遼太	松川知史	西本悠里	🌸
熊本県作業療法士会 「会長賞」	田口麗華	🌸	🌸	🌸	🌸	🌸	🌸
熊本県介護福祉士会 「会長賞」	🌸	🌸	🌸	🌸	🌸	ブレイズ・ ゲルダヤ	🌸
学校法人立志学園 理事長表彰	松村悠汰	山隈裕貴	宮本実春	松永あゆり	黒川華蘭	チェリリア デイベン	🌸
九州中央リハビリテーシ ョン学院後援会会長表彰	竹下千代之介	藏座利文	下田里湖	古川和樹	平井里奈	グルラクシ	ダハル・ロソ



理学療法学科

令和3年度 学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院 卒業式



理学療法学科夜間部
4年課程

令和3年度 学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院 卒業式



理学療法学科夜間部
3年課程



看護学科

令和3年度 学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院 卒業式



介護福祉学科



国際介護学科



IV-1-3 学科の特徴的な取組・実績

【作業療法学科】

コロナ禍も3年目に入り学内授業については、消毒や換気に配慮しながらも通常の授業を履行できた。

臨床実習についても途中、院内感染が発生し中断等があったもののほぼ予定通り行うことができた。

【1年】担任：大塚 開成、副担任：本田 直

1) 体調報告および欠席等の連絡の徹底

安易に欠席しないようメールではなく、電話による連絡を徹底した。また、メールでの体調報告を毎日継続できない学生は成績も良くない傾向が統計上みられた。このことで改めて生活管理能力の大切さを確認できた。

2) 5月上旬に2年生との交流会実施

2年生より基礎科目のレポートの書き方の指導してもらい、1・2年生の学習班ごとの学院生活等について情報交換を行った。

3) 解剖生理学や運動機能学の小テストを実施、また基礎セミナー、ホームルームを活用し解剖生理学、運動機能学の課題で勉強の仕方の指導並びに学習習慣の確立

今年度、解剖生理学、運動機能学の小テスト等を通じて、近年になく基礎学力が低い学生が多いことが確認できたので、試験対策を早めに取り組んだ。しかし成績が振るわない学生ほど様々な理由を付け無断欠席する学生が多かった。

まじめに学習会に参加する学生は進級に結いた。

基礎学力が低い学生とその学生の出席率と成績向上には有意に関係性が確認された。

次年度以降は、成績が悪い学生をいかにして学習会に参加させるかが課題である。

4) 職業・資格に対する早期意識づけ

(1) 「作業療法概論」の授業や他学年との合同授業を通じ、作業療法学科全教員が輪番制で授業を行い。それぞれの専門分野の立場から作業療法についての魅力を伝え、学習意欲を刺激している。

(2) 専門職としての意識付けを早期に行い学習意欲を向上させることを目的にボランティア参加してもらっている「ふれあい車いすジョギング」も今年は実施され参加できた。

5) 個別面談並びに保護者面談の実施

新しい学習生活に早期に馴染むように、また継続できるように年間を通して個別面談を計画的に実施した。また、欠席が目立ってきた学生など問題が生じた学生の保護者への連絡も密に行い、学生・保護者・担任・学科長による四者面談も行った。

【2年】担任：河口 万紀子

1) 学院関連の高齢者施設での体操・脳トレの実施体験

コロナの影響で、今年も施設を訪問しての実施はできなかったが、ZOOMを活用し、班ごと延べ6回交流会を実施。学生が考案した体操や脳トレを実施した。

まとめとして同じく授業の一環でこの施設と交流した3年生と合同で発表会も行った。

2) 1年生をモデルに支援体験

実習に出る前に他者とのコミュニケーション能力を高めことを目的に「基礎作業学実習Ⅱ」授業で1年生をモデルに手工芸作業活動を実施した。指導者の2年生はコミュニケーション学習、モデルの1年生は将来学習する科目の予備知識を得ることができた。

【3年】担任：赤石 め

1) 実践的OTプログラム立案と実施体験

学院関連の高齢者施設で2年生と合同臨床授業を施設側と調整し、協力を得てZOOMにて5回実施した。MTDLP(生活行為向上マネジメント)を用いて情報収集と評価、プログラム立案の仕方など一連の流れを学習できた。

2) 1年生に対する指導体験

コミュニケーション能力の向上を図り、生同士の共同学習を支援する目的で、「日常生活活動」の授業で1年に対して車いすの操作や介助、移乗法を指導してもらった。

このことは知識の確認とコミュニケーション能力、他者に対しての支援力を高める機会になっている。また、1年にとっては先輩に憧れを抱き、学習意欲の向上に繋がれば良い考える。

【4年】担任：亀尾 香珠代、副担任：山崎 孝文

～国家試験合格率100%に向けて～

1) 夜間開校の有効活用

本学は、夜間部があるため夜の10時まで学習室など活用できることが他校にない有利な点でもある。自宅に帰ってしまうと持続的学習ができない学生は学院で学習して帰るよう

に指導した。

2) 細かな進捗分析と学習支援

新しい模試作成システムの導入し、特に国家試験対策開始初期（10月、11月）は細分化した範囲で学習と模試を繰り返して基礎知識の十分な学習と理解、修得を図っている。

これらを通じて理解不十分な学生、学習法に問題がある学生のピックアップをはかった上で、さらに模試の成績が下位 1/3 に入った学生に対しては、早期介入に心掛け教員一丸となってフォローアップ体制を組んでいる。

また、試験日 1 ヶ月前になると合格ボーダーラインの学生に絞り、教員が集中講義を手分けして行った。

3) 高い国家試験合格率を維持

結果、2022 年度も作業療法士国家試験合格率 95.7%と全校平均 83.8%を大きく上回った。

以上

IV 教育活動

IV-1 理学療法学科 昼間部 理学療法学科 夜間部

《2022年度 理学療法学科 総括》

理学療法学科 昼間部
夜間部

2022年度も昨年度同様に、コロナ感染症に伴い試行錯誤の一年となった。対面での講義、臨床実習の重要性を念頭に置き、できる限り通常体制で学生支援を行った。医療人育成機関としての学院目標によるものか、学生の意識も高くクラスター発生が起こることもなく、概ね順調な一年であった。以下に各学年の動向、ならびに職務分掌ごとの成果報告、国家試験結果および就職状況について述べる。

2022年度 進級状況						
昼間部	総数	進級	4科目以上	退学	休学	
1年	89	73	5	9	2	
2年	71	64	4	2	1	
3年	52	45	4	2	1	
4年	35	34	0	0	1	
夜間部	総数	進級	4科目以上	退学	休学	
1年	30	21	3	5	1	
2年	30	18	6	6	0	
3年	13	13	0	0	0	
2023年度						
昼間部	総数	担任				
1年	84	井手・福岡				
2年	73	中山・平田				
3年	67	飯星・原田				
4年	46	瀧下・岸本				
夜間部	総数	担任				
1年	29	岩下				
2年	25	渡久山				
3年	17	石原				

◆ 昼間部 1, 2, 3年 夜間部 1, 2年

【到達目標】

◎ 留年、退学者の減少

担任による個人面談、外部者による面談介入、学生指導部による悩み相談など細かな対策を行った。その結果、昼間部では昨年度の82%から86%と若干ではあるが進級状況の改善が認められた。一方、夜間部では65%と同程度の進級状況にとどまった。

昼夜関係なく担任を中心に教員全員による取り組みが行われてきたが、問題点が多岐にわたることで対応の限界も認められるところである。また、少子化の問題は、学力向上のみに

留まらず小学校、中学校、高校における発達障害児への教育体制が不十分なため、結果教育の疲弊による教員不足状況に陥っている。その対策から、昨今理学療法士協会への教育分野に関する介入依頼があり、医療職による教育現場介入が少しずつ動き出してきた。今後の動向が気になるところでもある。

- 問題の多様性 ① 発達障害(学習障害)
② 経済的問題
③ 人間関係(資質問題)

進級問題には、教育的介入によって改善可能と思われるものもあるが、保護者を含め専門的介入を要するものが多々見受けられる。今後は、外部機関との連携も視野に入れながら対応を検討していくことが重要と思われる。

なお、学習面では、早期より国家試験問題を各担当者が講義の一部に取り入れ、国家試験を意識した到達目標を掲げ、講義構成を新たに積極的な指導に取り組んだ。あくまでも単位を取得するための目標ではなく、意欲的向上心を持った医療人を育成するための理想としている。

◆ 昼間部 4年 夜間部 3年

【到達目標】

- ◎ 臨床実習の合格
- ◎ 国家試験の合格

コロナ禍ではあったが、臨床実習は昨年度とは違い、その多くが現場実習を行うことができた。事前検査など現場との密な連絡により、地域ごとの感染状況に応じた対応策を取ることで実施できる環境を準備することができた。その結果、1名を除く全学生が無事終了となった。不十分とした学生は途中休学となったが、次年度再チャレンジのため問題となった対人スキルを改善するため、半年間のアルバイトを通し、その改善を図った。また、国家試験においては昨年度多くの不合格者を出したため、打開策として関連機関での活動調査、および国試対策メンバーを中心に外部研修等行い教育力の強化を図った。その結果、47名全員の国試合格を勝ち取ることができた。さらに学内で合流学習を行ったリトライメンバーにおいても、1名が不合格となったが、3年目のものを含め15名が合格を勝ち取った。今回の経緯を整理し、次年度以降も好成绩での継続的合格を目指したい。

1. 教育

2022年度は、教員の入れ替えが急遽あり、対応に翻弄されたが各教員の成長により業務遂行に大きな支障はなかった。現、学生の学力レベル、および国試内容の高度化を踏まえ科目全体での連携教育を密に行ってきた。国家試験合格率アップも科目ごとの連携と、新カリキュラムでの導入科目との新体制構築が今後の課題となる。国家試験出題問題においても前例がない新分野が導入される次年度となるため、細かな情報収集が今後の課題となる。

2. 広報

受験者数の減少は、顕著となっている。オープンキャンパスをはじめ進路ガイダンス、出張リハなどを行ってきたが、他校調査でも受験者総数の減少は顕著となっている。特にコロナ禍の影響だけではなく、少子化にIT企業の参入など多くの要因が考えられるため、今後効果的な対応策が要求される。一案として、夜間部対応としてナイトオープンキャンパスを追加開催したが、参加者も少なくその効果はあまり認められなかった。個別対応の

広報を行うなど今後何らかの仕掛けが重要事項と考える。

3. 臨床実習

一昨年の経験から、急な臨床実習中止にも対応できる教育システムは構築できたが、現場での実習に準ずると言えるほどではなく、一日でも多くの体験を現場で行うことが学生教育には重要であった。なお、次年度以降は、最終学年の学生数増加による臨床実習現場数の不足が懸念される。今後は、臨床実習担当者を中心に実習施設の確保が重点項目として挙げられる。また、地域リハ実習が今年度初めて学外で行われた。現場での学びは奥が深く、学生一人一人の成長が伺えた5日間となった。

なお、コロナ禍において、実習地より事前PCR検査などの要求があり、急な徴収（1万）を行ったことで学生に負担をかけることとなった。

4. 就職（求人状況）

◎ 2022年度総求人数 1784人

（熊本県 165名、その他九州 310名、九州外 1309名）

就職率：100%（国家試験合格者 47名：内 32名県内）

例年並みの求人状況となり、徐々に回復傾向がうかがえる。また、今回就職の範囲を広げるため Web での就職説明会を行った。その影響か関東方面への積極的な就職希望があり、中には HP を自ら検索し、就職試験にチャレンジしたものが数名認められた。今後就職の拡大の一案として学生への紹介方法としたい。

熊本県と関東では4~7万円程度の賃金格差があり、東日本ではさらにその差は開いている。奨学金の返済を理由に、熊本県というよりも家から通いたいと考える学生が多くいることは熊本県にとっては喜ばしいことではあるが、地域にとらわれず知識・技術を身に付けて成長できる環境での学びを促していきたいものである。

5. 国家試験

2021年度における合格率の低迷は、残念な出来事であった。対策として、①外部からの情報収集、②自ら外部研修に参加、③鰐部ゼミナール動画採用、④鰐部ゼミナールとの定期的なミーティング開催など、多面的に対応策を講じた。これまでのやり方に外部機関による独自の視点・意見を取り入れることで教員側がぶれずに指導に取り組むことができたことは有益であった。その結果、新卒者昼・夜共に全員が合格できたことは素晴らしい結果として称賛された。教員自らの取り組みは、国試対策だけにとどまらず、1年次からの教育方針に多くの指針を示すものとなった。できれば次年度も継続し、さらなる検証を加えその精度を高めていきたい。

2022年度 理学療法士国家試験結果

	受験者数	合格者	合格率
全国(全体)	12,948	11,312	87.4
全国(現役生)	10,824	10,272	94.9
全国(リトライ生)	2,124	1,040	49.0
	受験者数	合格者	合格率
九中(現役生)	47	47	100.0
九中(リトライ生)	16	15	94.0

6. まとめ

コロナ感染問題も5類へ移行することもあり、徐々に依然の状況を取り戻しつつあるため現状の対策をさらに検討し、顕著なものとするのが急務である。また、少子化の影響

は、学力低下だけではなく受験者数にも影響が見受けられる。広報の見直しと質の確保を意識した対応策が今後の課題となるようである。また、トリプル改定の影響がどの様に表れるのか？ ウクライナ問題による経済・医療・教育支援が、どの様に推移するのか？さらなる成長のためには、内部だけではなく、外部情報を分析し、早めの対応が必須となる。

また、2024年度は第三者学校評価を受ける年となるため、2023年度は準備期間として対応が急務とされる。

文責 学科長 田島徹朗

第 112 回 看護師国家試験

1. 試験の概要

九州中央リハビリテーション学院 看護学科

問題種別	必修問題	一般問題	状況設定問題
問題内容	看護師としてとくに基本的かつ重要な知識及び技術について出題される。基本的な知識があれば、必ず答えられる内容。4肢または5肢択1問題。	解剖生理から疾患、看護ケアまで幅広く出題される。4肢択1問題または、5肢択1または択2問題。5肢択2の問題を増やすことでアセスメント能力を問われる問題が多くなってきた。	在宅にシフトした現場レベルの問題が多く応用力や判断力が求められる。現場に直結する内容のため、1問あたりの配点を高く設定。
出題数	50問 (午前・午後 問題1~25)	130問 (午前・午後 問題26~90)	60問 (午前・午後 問題91~120)
配点	1問1点	1問1点	1問2点
合計点	50点	130点	120点
合格基準	8割(50問中40問)以上の正解が必要。一般問題や状況設定問題の正答率が高くても、必修が取れていなければ「合格」にならない。	一般+状況設定問題(その年によって違う) 第104回 159点/248満点 第105回 151点/247満点 第106回 142点/248満点 第107回 154点/247満点 第108回 155点/250満点 第109回 155点/250満点 第110回 159/250点満点 第111回 167/250点満点 第112回 152/249点満点	

2. 看護師国家試験合格率の推移

		1期生 (第101回)	2期生 (第102回)	3期生 (第103回)	4期生 (第104回)	5期生 (第105回)
全国	新卒合格率	95.1%	94.1%	95.1%	95.5%	94.9%
本校	新卒合格率	94.4%	100%	85.7%	100%	98.6%
	既卒合格率		50.0%		83.3%	
		6期生 (第106回)	7期生 (第107回)	8期生 (第108回)	9期生 (第109回)	10期生 (第110回)
全国	新卒合格率	94.3%	96.3%	94.7%	94.7%	95.4%
本校	新卒合格率	100%	92.2%	88.4%	96.9%	98.5%
	既卒合格率	100%		75.0%	75.0%	60.0%
		11期生 (第111回)	12期生 (第112回)			
全国	新卒合格率	96.5%	95.5%			
本校	新卒合格率	95.2%	98.6%			
	既卒合格率	66.6%	100%			

3. 問題の傾向と今後の課題

今回の看護師国家試験は、パーキンソン病や川崎病、統合失調症など頻出疾患が多く出題されていた。しかし、新出題基準からの出題もあり、本校でも全体として難しかったと答える学生が多かった。

必修問題は基礎的な知識を問う問題であり、今年も例年同様、統計学的な問題や保険制度に関する問題、専門基礎分野、基礎看護技術に関する問題が出題されていた。看護師国家試験対策を行っている大手予備校調べでは、過去問題の類似問題が 50 問中 30 問以上と多く出題されていたと述べている。新出題基準からは個人防護具の脱衣手順などが出題されていた。一般問題は、昨年度に比較して五肢択一問題も五肢択二問題も出題数が増加した。新出題基準で追加された項目は、心周期やパッチテストなど、全科目において出題されていた。2022 年以降の新カリキュラムは、コミュニケーション能力のさらなる強化、臨床判断能力や倫理的判断・行動に必要な基礎能力を養うためのシミュレーションを活用した演習の強化を学ぶ内容となっている。今後も基礎的な知識を根拠とともに理解していく学習をおこない、さらに新出題基準で追加された項目に対しての学習も必要とされる。

状況設定問題は、昨年度出題されていた一状況二連問・単問は出題されず、全て三連問の出題であった。小児看護学の状況設定問題では、昨年度の学校生活管理指導表に続いて、小学校に配置されている看護師や担任への指導など地域連携に関する問題が出題されていた。2022 年以降の新カリキュラムは、対象者及び対象者の療養の場の拡大を踏まえた看護の基礎を学ぶ内容となっている。今後も病院だけではなく地域や学校、保育所との連携を見据えた学習が必要である。

これまで当学科の看護師国家試験対策の特徴として、臨地で様々な患者様・疾患と出会いその中で知識を深め、国家試験の学習を行うことで自分の行った看護を振り返る機会を得、知識の定着へとつなげていた。しかし、入学当初から卒業迄（国家試験も含む）、新型コロナウイルス感染拡大の渦中で過ごすこととなった今回の受験生達は、本校ばかりでなく臨地での実習の機会が減り、領域によっては学内での実習を余儀なくされ、学習の好機が大幅に減少した状況にあった。国家試験問題の頻出疾患や類似問題の増加は、このような状況下にあった看護学生達への配慮ともとれる。

新年度からは、感染症法の分類で五類感染症に見直されることもあり、感染予防対策はとりつつも、臨地で様々な患者様や看護師の諸先輩方と出逢い、その関わりから学生個々の心が動き、動かされ、遠のいていた旬の学びが出来るのではと期待に胸が膨らむ。

「看護師」国家試験は、従来より難問を課して志願者をふるい落とそうとするものではなく、看護基礎教育を修めた学生達が、ある意味「新人看護師」と呼べるかどうかの「知識」確認試験である。また、それ迄の学習のプロセスにおいても無資格ながらも「患者様」との関わりなくして成立するものではない。今年度もコロナ禍で「臨地実習」ができないことを通して、努力はしたものの学生達に「看護する喜び」どころか、大きな不安や負担をかけてしまい反省は尽きない。

国家試験の意味と限界を含め、いかなる学習環境となっても、学内や臨地での学びを大切に、学生達が安心してやるべき事一つひとつを積み上げ、同時に人間性を育み、3 年後には必ず「人の命を預かる者」としての構えができていくよう、指導する私達の柔軟な思考とスキルアップが重要である。

4. 今年度の実績

- 1) 受験者：・現役生 70 名 ➡ 合格者 69 名（合格率 98.6%）
・既卒生 4 名 ➡ 合格者 4 名（合格率 100%）

IV-2-2 教育研修

日時：令和4年7月1日（金）～7月2日（土）

場所：九州中央リハビリテーション学院 2号館

目的：1.（1泊2日）生活を共にすることで、学生間の相互理解と親睦を深め、協調性と主体性を養う。

2. 人間関係論の集中講義を通して人間関係向上のスキルを学ぶ。

対象：84名（男子4名、女子80名）

内容：1. 講義及びグループワーク

2. 活動

人間関係論は、「人間と人間の生きた関わりにおいて人間の本質、人間の固有性があらわれてくる。人間存在と人間関係の本質的な事実を学び、人間関係技法の基礎的知識を養う」を学習目標としている。他者との関係をいかに築くかは、看護の基盤であり、そのスキルを身につけることが看護基礎教育ではとても重要である。現代の若者の特徴として、コミュニケーション力や接遇力の低下が課題となっており、まずは「看護師」を志すクラスメイトとの関係創りにおいても、入学時からスタートするこの授業の持つ意義は大きい。

残念ながら、今年度も「新型コロナ感染拡大」の収束の目途がつかず、学内での研修となった。「新しい生活様式」は感染予防のためには、必要不可欠であることは言うまでもない。しかしながら、「仲間創り」においては、やはりマイナス面が際立つ。入学してから3ヶ月、全体的に大人しく、ぎこちなさを感じる。学生一人ひとりがまだお互いに安心感が持てないのであろう。

本来ならば、雄大な葦北の自然に包まれ、青い空そして海、潮風を感じながら溢れんばかりの学生達の笑顔と笑い声…傍で聞いていても心地よく、ちょっとハードな日常から離れ教員も学生達同様に気持ちが軽くなっていく……といった経験を思い出しながら、現実の研修がスタートした。

最初はなかなか、予想通り上手くのれなかった学生達だったが、次第に忽那先生の指導に引き込まれ、色々な反応が顔を出していく。実に面白い。徐々にチームでの意見も活発になり、マスクの向こうの控えめな笑顔にお互いが気付き始め、関わりがどんどん深まっていた。そして2日間の研修はもの見事に、葦北での研修同様大きな成果となっていた。

「マスク」着用の日常は、しばらくは継続しそうである。一方、「医療の世界」ではコロナ感染の有無に関わらず、マスク着用が必須アイテムといっても良いだろう。コロナ禍で始まった感染予防対策（ソーシャルデスタンス・密の回避・スキップの規制等）は看護を学ぶ学生にとっては、大きな打撃となった。しかし、非日常を経験できた事は、実感しないままに見過ごしてきた大切な「日常」の有難さを身に染みて学ぶ大きな機会となった。この経験が学生達にどのような影響を与え、どのような「看護」を実践していくのかとても楽しみである。

【令和4年度】教科外活動及び行事

活動及び行事	時期	時 間				計	目 的
		1年	2年	3年			
入 学 式	4/8 (1 (金))	2	2	2	6	6	学生生活の新たなスタートを自覚する。
入学時オリエン テーション	4/4~5 (月)(火)	12			12	12	学院生活に適応するために、学院の概要や 施設設備などを理解する。
新入生歓迎会	5/2 (月)	4	4	4	12	12	学院全体で新入生を歓迎し、学生間、学生 一教職員との親睦を図る。
健 康 診 断	4月	2 (4/5)	2 (4/5)	2 (3/31)	6	6	自己の健康状態を知り、健康に対する関心 を高め、健康の保持・増進を図る。
看 護 の 日	5/13 (金)	2	2		4	4	看護に関する講演やシンポジウムを通して 自己の看護観を見つめる。
防 災 訓 練	適時	2	2	2	6	6	災害時や緊急時の安全性を考え、正しい状 況判断と行動ができるようにする。
宣 誓 式	11/4 (金)	2	2	2	6	6	看護の専門職業人を目指すものとしての自 覚と誇りを持ち、決意を新たに学習への意 欲を高める。
体 育 大 会	3月	6	6		12	12	大会の参加や応援を通して、学生間や地域 との交流を深め、協調性や協働性を養う。
特 別 講 演	3月	2	2	2	6	6	多様に変化していく社会情勢を認識し、視 野を広げ看護者に求められる役割を学ぶ。
卒 業 式	3/3 (金)	2	2	2	6	6	本学院を卒業する達成感と、看護の専門職 業人としての自覚と使命感を持ち新たな出 発点とする。
H R	毎月	22	22	22	66	66	学生生活をスムーズに意義あるものとする ための話し合いや協働の場とする。
臨地実習オリエン テーション	実習時 期	16	16	14	46	46	主体的に臨地実習に臨めるように実習の目 的・目標などを理解する。
学 内 学 習		8	24	54	86	86	実習を円滑に行うための準備ができる。
臨 地 実 習 の ま と め		12	20	12	44	44	お互いの学びを共有し合い、知識を統合す る。 自己を振り返り、課題を見出し、新たな目 標をもつ。
合 計		94	106	118	318	318	

*1年生：人間関係論・研修1年生（学内）7/1(金)~2(土) *3年生：ケーススタディ発表

IV-3-1 介護福祉学科教育課程

					1 学年次		2 学年次	
領域	教育内容	科目名	単位	時間	前期	後期	前期	後期
人間と社会	人間の尊厳と自立	人間の理解	2	30	30			
	人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	4	60	30	30		
	社会の理解	社会の制度と理解 I	2	30			30	
		社会の制度と理解 II	2	30				30
	人間と社会に関する 選択科目	スマート介護	2	30			30	
		ミュージックプロデュース	2	30	30			
		エンターテインメント	2	30	30			
		エステティックケア	2	30		30		
フォトグラフィー		2	30		30			
小計			20	300	120	90	60	30
介護	介護の基本	介護の基本 I	1	30	30			
		介護の基本 II	1	30	30			
		介護の基本 III	1	30		30		
		介護の基本 IV	1	30		30		
		介護の基本 V	1	30			30	
		介護の基本 VI	1	30				30
	コミュニケーション技術	手話	1	15		15		
		点字	1	15		15		
		コミュニケーション技術	1	30			30	
	生活支援技術	生活支援技術 I	1	30	30			
		生活支援技術 II	1	30	30			
		生活支援技術 III	1	30		30		
		生活支援技術 IV	1	30	30			
		生活支援技術 V	1	30		30		
		生活支援技術 VI	2	60			60	
		生活支援技術 VII	1	30			30	
		生活支援技術 VIII	1	30		30		
		生活支援技術 IX	1	30				30
	介護過程	介護過程 I	1	30	30			
		介護過程 II	2	60		60		
		介護過程 III	1	30			30	
		介護過程 IV	1	30				30
	介護総合演習	介護総合演習 I	1	30	30			
介護総合演習 II		1	30		30			
介護総合演習 III		1	30			30		
介護総合演習 IV		1	30				30	
	介護実習 I	2	80	80				

	介護実習	介護実習Ⅱ	5	200		200		
		介護実習Ⅲ	5	200			200	
	小計		40	1290	290	470	410	120
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	発達と老化の理解A	1	30		30		
		発達と老化の理解B	1	30		30		
	認知症の理解	認知症の理解A	2	45	45			
		認知症の理解B	1	15				15
	障害の理解	障害の理解A	1	30			30	
		障害の理解B	1	30				30
	こころとからだのしくみ	介護とリハビリテーション	2	45	45			
		こころとからだのしくみA	1	30		30		
		こころとからだのしくみB	2	45				45
		小計		12	300	90	90	30
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケアの基礎Ⅰ	2	45			45	
		医療的ケアの基礎Ⅱ	1	30			30	
		医療的ケアの基礎Ⅲ	1	15				15
		医療的ケアの実習（見学）	1	15			15	
	小計		5	105	0	0	90	15
総計			77	1995	500	650	590	255

IV-3-2

学科の特徴的な取組と実

績【介護福祉学科】

介護福祉学科では、入学時より自主性・社会性を養いながら、授業や実習などを通して介護福祉士としての必要な知識・技術・態度を育むカリキュラムとなっている。美容や娯楽、写真や音楽などの基礎を習得できる複合的なカリキュラムも導入することで、将来の選択肢も広がっている。

学生は将来をイメージすることで、自らの目標を明確にし、講義内容の理解を深めていくことができる。

教員は福祉・保健・医療を統合した総合ケアの視点を持ち、豊富な現場経験を活かした授業を展開しており、情熱と教養のあるきめ細やかな教育・指導を行っている。

学習環境について、設備面も大変充実している。介護実習室ではタイプの違うベッドが計 8 台あり、いろいろな状況に合わせた生活支援技術の習得に役立っている。3 階の学習室は少人数グループでの学習に適した環境となっている。

2 年間を通しての介護実習では、学内の講義や演習で学んだ「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」などの専門的な技術と知識を、実際の介護現場において実践し、自己の課題に向き合い、新たな学びへと成長していく機会としている。

そして、ご利用者の皆様や現場で働く介護福祉士の方々と人間的なふれあいを通して、介護福祉士としての必要な知識・生活支援技術・徳育を育むことを期待している。

昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響から実習事業所の変更を行うこともあった。

感染対策の観点より、宿泊による実習を希

望する実習事業所が多く、学生は実習期間中、事業所から指定された宿泊所に滞在しながら実習に取り組んでいった。

コロナ禍において実習を受け入れてくださった実習施設の皆様へ、感謝の気持ちで学生全員が懸命に実践的な学びを深めることが出来た。介護現場での感染症への必要な知識や、具体的な感染対策を行い、ご利用者様の命を守る姿勢や職業倫理を学ぶこともできた。

また、介護福祉学科では学生全員が、ボランティアサークル「クローバー」に所属し、障がい者・高齢者地域で行われる行事などに積極的に参加している。しかし新型コロナウイルス感染症の影響で、現在、ボランティアの依頼は少なく、可能な範囲で対応できるようにしている。

2 年次の就職活動については、履歴書の書き方の指導や、面接試験対策指導、小論文試験対策として、新聞の時事関連記事を用いて、読み方、解き方などを指導した。

結果、就職率は 100%、学生全員が希望する介護施設へ就職することができた。

第 35 回介護福祉士国家試験は予定通り、1 月 29 日グランメッセ熊本で実施され、本学院からは 39 名（日本人 26 名、留学生 13 名）が受験した。

全国の合格率は 84.3%、本学院の合格率は 94.9%、日本人は 100%、留学生は 85%、と全国の結果を大きく上回った。新型コロナウイルス感染拡大を受け、本学院の学生は、国家試験 2 週間前から自宅学習期間となったが、リモートでの学習支援や学生各々の努力により全国平均を大きく上回る結果を残すことが出来た。

IV-3-3 介護福祉学科 第11期生 症例検討

日時 令和4年3月2日(水)1限目～4限目

場所 九州中央リハビリテーション学院 3号館2階 教室2

発表タイトル

1. 介助・支援のコミュニケーション ～認知症利用者の介助とコミュニケーションの関係について～
2. 食事に対する満足感 ～早食いと体重増加を抑え満足感を高める～
3. 安全な日常生活を過ごすために ～ 99歳 男性 筋力低下による転倒防止の支援～
4. 食事について ～どうやったら上手く食事が摂れるか～
5. 認知症の方への関わり方 ～意欲が低下した90歳女性の支援について～
6. コロナ禍での楽しみ方 ～脳性小児麻痺による全身不随の方の楽しみを増やす～
7. 日常生活に対する声掛け ～84歳、女性、アルツハイマー型認知症を持つ方の生活支援～
8. 頸椎損傷の利用者の日常生活が改善について ～頸椎損傷、下肢筋力が低下した87歳利用者の排泄介助の方～
9. 意志疎通困難な高齢者の個別ケア ～回想法を意識したコミュニケーションで認知能力の低下を遅らせる～
10. 精神疾患の方の支援 ～84歳女性の躁うつ状態の方 に衣類管理支援について～
11. うつ病の方への生活支援 ～75歳女性うつ病の方に施設に受ける声かけの大切さについて～
12. 本人の意思を尊重した介護 ～88歳女性車いすの自走に向けた支援～
13. 精神の浮き沈みについて ～精神状態に不安がある人との接し方～
14. 排泄の動作について ～排泄の動作に問題がある人へのトイレ介助～
15. 傾眠について ～脳血管障害で起こることや予防について～
16. 排泄リズムの把握 ～認知症の方に対して、失禁、失敗の回数を減少するための工夫～

17. 左半身麻痺の高齢者の自立支援 ～施設における生活の中での自立支援方法について～
18. 86歳女性の方の食事支援 ～食事を通して健康的な生活を送るために～
19. パーキンソン病利用者の自立支援 ～安心して歩行してもらうための支援について～
20. いつまでも自分らしく暮らしたい Sさん ～アルツハイマー型認知症人の気持ちの関わり～
21. 興味を活かした活動をしたい ～アルツハイマー型認知症の方が不安なく楽しい生活ができる支援について～
22. アルツハイマー型認知症の方との交流について ～老健で1週間前から入所したKさんの不安の対処法～
23. 機能の維持について ～施設における車いす移動の自立支援方法について～
24. 不安を軽減する為のコミュニケーション ～アルツハイマー認知症 92歳かかわり方の工夫～
25. 日々をよりよく過ごすために ～安心して食事を摂る～
26. 知的障害のある方への支援 ～療育手帳A2、自分の気持ちを伝えるための支援方法について～
27. 施設で安心して暮らすには ～両変形性膝関節症と認知症をもつ利用者の残存機能を維持していくための支援～
28. 片麻痺の人の移動介助 ～もう一度歩けるようになるために～
29. 本人らしい自立 ～ピアノを弾くことができる74歳の利用者へのレクリエーション援助～
30. 適切な食事介助と口腔ケア、嚥下訓練の重要性 ～嚥下機能が低下している94歳の利用者への食事介助～
31. 利用者様の排泄について ～S状結腸軸捻転と高次脳機能障害の利用者様へ必要な配慮とマッサージを行った結果～
32. 在宅復帰を目指して ～認知症81歳女性 独居での自立した生活に向けて移動手段を考える～
33. その人らしい生活 ～入所したての利用者の心身と身体のケア～
34. 意欲を引き出すためのコミュニケーション ～筋ジストロフィー症の介護とコミュニケーション～
35. 安全な食事介助を行うために ～片麻痺のある男性利用者に対する支援～

36. 食事環境の重要性
～左半側空間無視、気分変容のある利用者への食事支援～

37. 認知症を遅らせる
～81歳男性の初期アルツハイマー型認知症を毎日の生活改善で遅らせる方法～

38. 施設で安心して過ごすことができる
～認知症と障害の2つの症状がある方の対応の仕方について～

39. 夜間の睡眠の質の向上
～夜間に起きる回数を減らすために～

V 研究・研修実績	
名前	タイトル、出版社、年など
V-1 執筆・論文	
河野文夫	1) 医療相談室 血液内科 造血幹細胞移植医療に激変、HLA半合致移植とは 総合文化誌KUMAMOTO 39. 202p. 2022.6
中山貴文	1) 中山貴文・坂本将基・井福裕俊(2022)運動習慣のない女性起立性低血圧者は、立位時における下肢抗重力筋の筋機械受容器反射が小さい。体力科学, 71(6): 479-492. 2) 中山貴文・坂本将基・井福裕俊(2023)立位時における女性起立性低血圧者の下肢筋活動と筋機械受容器反射。日本運動生理学雑誌, 30(1):9-19.
大塚開成	1)大塚開成・河口万紀子・小手川耕平(2023)視線に対する著先教示の有無が健康成人の箸操作能力に与える影響。作業療法研究くまもと, 第8巻1号:47-51. 2)小手川耕平・大塚開成・河口万紀子(2023)作業療法学生における高次脳機能障害の理解度と実践能力-臨床実習前学生を対象としたアンケート調査-。作業療法研究くまもと, 第8巻1号:41-46.
井手義智	井手義智・本田洋一・長谷川千絵・川瀬千晶(2022)慢性無気肺の重症心身障害児へPEEPバルブを併用した肺内パーカッションベンチレーター。日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌, 第30巻2号, 239-242
V-2 学会発表	
大塚 開成	1)大塚開成, 河口万紀子, 小手川耕平「視線に対する教示の有無が健康成人の箸操作能力に与える影響について」第56回日本作業療法学会2022.9.16~9.18 2)大塚開成, 河口万紀子「当学院の学生における日々の体調報告と学業成績との関連性について」全国リハビリテーション学校協会 第35回教育研究大会・教員研修会2022.10.29~10.30 3)宮川達好, 中山彰子, 本田隆, 佐久間克彦, 大塚開成「自動運動不良な前腕コンパートメント症候群へのアプローチ~食器把握動作の獲得を目指して~」九州作業療法学会2022in佐賀.6.18~6.19 4)第18回熊本作業療法学会 発達領域パネルディスカッション パネリスト 2023.1.21~1.22
河口万紀子	1)北原 菜実, 河口 万紀子, 谷崎 公哉「運動特化型サービス利用者の転倒の要因について」第56回日本作業療法学会2022.9.16~9.18
野島謙一郎	1)白石さゆり, 野島謙一郎「災害時における介護福祉士の専門性とは」第29回日本介護福祉士学会全国大会・第20回日本介護学会 ポスター発表 2022.10.
V-3 講演など	
V-4 学会座長など	
河野文夫	熊本県内科医会総会学術講演会総合座長 講演者 熊本中央病院糖尿病・内分泌・代謝内科部長 西田健朗先生 「糖尿病患者に対する睡眠に関するアンケート調査」、順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学 准教授 葛西隆敏先生 「循環器疾患患者の睡眠と睡眠障害-オレキシン受容体拮抗薬の可能性-」令和4年6月4日 17時55分 ホテル日航熊本
岸本 稔	Redcord全国学術大会(Web) 座長 2022.11.6
野島謙一郎	九州福祉系高等学校介護技術コンテスト 審査委員長 2022.8.23
V-5 その他(講義・査読など)	
福岡 進	トレーナー)①熊本工業高校野球部 2018.3.15~ 講義)令和4年度第1回生徒保健委員連絡協議会 2022.7.8 講義)熊本県立第二高等学校 美術解剖学 2023.3.7 研修会スタッフ)熊本県理学療法士協会 倫理委員会 研修会 2022.10.2
中山 貴文	講義)熊本県立大学 環境共生学部 栄養運動生理学・栄養運動生理学実習 トレーナー)①令和4年度国民体育大会 第42回九州ブロック大会帯同(剣道競技:熊本県成年女子) 2022.8.21 ②第14回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会帯同(熊本県成年女子)2022.7.10 日本武道館
飯星 雅朗	査読)九州理学療法士学術大会2022 in 福岡 査読)第25回熊本県理学療法士学会
田島 徹朗	査読)第56回日本理学療法学術研修大会 査読)九州理学療法士学術大会2022 in 福岡 査読)第25回熊本県理学療法士学会
山崎 孝文	査読)九州作業療法学会 2022in佐賀 講義)①福祉用具専門相談員指定講習会 熊本職業能力開発促進センター 2022.9.15, 2022.9.16 ②福祉用具専門相談員指定講習会 熊本職業能力開発促進センター 2023.3.9, 2023.3.10
大塚 開成	講義)①現職者共通研修「作業療法の可能性」(web) 2022.9.11 ②第1回厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会「臨床実習における管理・運営」(web) 2022.9.24 ③第2回厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会「臨床実習における管理・運営」(web) 2023.2.25 ④第3回厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会「臨床実習における管理・運営」(web) 2023.3.4 ⑤有明成仁病院研修会「家屋調査のポイントと身体イメージの臨床応用」(web)2022.9.26 査読)九州作業療法学会2022in佐賀 その他)自立支援型ケアプラン作成に向けたリハビリテーション専門職派遣事業 リハ職としての派遣 2022.11~
亀尾香珠代	査読)九州作業療法学会2022佐賀
赤石めぐみ	研修会スタッフ)MTDLP事例検討会(web)2022.11.16 支援事業)熊本刑務所(熊本県作業療法士会派遣事業)2022.10~
井手 義智	訪問支援)熊本県理学療法士協会 児童発達支援事業 令和4年5月・9月、11月、1月、令和5年3月 研修会スタッフ)熊本県理学療法士協会専門領域部小児班主催研修会(応用編) 2022.9.18~19 熊本県理学療法士協会専門領域部小児班主催研修会(基礎編) 2022.11.27 講義)熊本県理学療法士協会・西部公民館共催「家でもできる健康体操」2022.9.24
原田 恭兵	トレーナー)第22回全国障害者スポーツ(いちごー会とちぎ大会)大会帯同 2022.10.29~2022.10.31 講義)熊本市西ブロック公益事業 長生会 2022.3.1 尚綱高校 職業紹介並びに体験講演会 2022.8.4 尚綱高校 松橋高校 職業紹介並びに体験講演会 2022.11.10 松橋高校 飛鳥未来さずな高等学校 職業紹介並びに体験講演会 2023.1.18 メルパルク熊本
平田 匠	熊本県理学療法士協会 総会(議長) 2022.6.25
石原 靖之	講義)第25回熊本県理学療法士学会 特別セミナー II「理学療法における疾患別臨床推論・循環器疾患」 公益社団法人熊本県理学療法士協会 2022.11.20 熊本リハビリテーション病院からWEBで講義を配信
河口万紀子	査読)九州作業療法学会 2022in佐賀
川窪昭子	令和4年度 日本介護福祉士養成施設協会 九州ブロック研修会 実行委員 2022. 6.17~9.17 対策講座「こころからのしくみ」「医療的ケア」 2022.11.23 講義)介護福祉士国家試験 介護福祉士実務者研修「医療的ケア」2022. 10.15・16、11.12・13
岸本 稔	講義)Redcord Basicコース開催 2022.11.13 当学院にて 講義)Redcord Basicコース開催 2023.11.19 当学院にて
野島謙一郎	令和4年度 日本介護福祉士養成施設協会 九州ブロック研修会 実行委員 2022. 6.17~9.17 講義)九州看護福祉大学社会福祉学部 後期非常勤講師 講義)熊本県介護福祉士会ファーストステップ研修 2022.05.28 講義)熊本県介護福祉士実務者研修 2022.08.27 講義)日本介護福祉士会技能実習指導員養成研修 2022.11.19 講義)熊本県介護福祉士会技能実習生等集合研修 2023.02.25
V-6 研修会参加	
2022年度に公費自費問わず参加した研修会を記入して下さい	

山崎 孝文	①R4年度 自立支援型ケアプラン作成に向けたリハ職派遣研修会(熊本市主催) 2022.7.14WEB開催 ②第13回 熊本医療人育成総合会議 講演会(肥後医育振興会主催)2022.12.3熊本大学医学部 ③作業療法士学校養成施設連絡会研修(日本作業療法士協会主催)2022.5.31, 2022.9.27, 2023.1.31
瀧下 明日香	姿勢制御 日本ボハース研修会(web開催) 2022.7.2 国家試験教員セミナー 国試塾アカデミー 2022.8.6-8.7 Upper limb の評価と治療 日本ボハース研修会(web開催)2022.9.3 Hand functionの評価と治療 日本ボハース研修会(web開催)2022.10.8 Movement analysis 起き上がり・立ち上がり 日本ボハース研修会(web開催)2022.11.5 Movement analysis 座位・立位バランス 日本ボハース研修会(web開催)2023.1.7 脳性麻痺児の評価と治療 日本ボハース研修会(web開催)2023.2.4 日本理学療法士教員協議会(web開催) 2023.2.18
中山 貴文	①熊本県体育協会スポーツ医科学専門委員会トレーナー研修会 2022.12.14 ②日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会 2022.11～
飯星 雅朗	①第11回 オンライン配信セミナー『国語力』を入学前から高める理由とその方法—高校生の国語力の現状と向上策—J2022.09.07 ②令和4年度『九州ブロック管理・運営研修会』2022.10.01 ③学校安全基礎セミナー 2022.10.07 ④全国職能関連担当者会議 2022.10.12 ⑤第25回熊本県理学療法士学会 公益社団法人熊本県理学療法士協会 2022.11.20 ⑥第13回熊本県医療人育成総合会議講演会 公益財団法人肥後医育振興会 2022.12.03 ⑦第3回情報モラル教育指導者セミナー 2023.01.27 ⑧自治体実務WEBセミナー「自治体の先進事例に学ぶ『リスクリソング』～行政職員のリスキル・地域企業のDX人材育成の取り組み～」2023.02.08
田島 徹朗	①2022年度評価員研修会 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構 2022.5.22 ②臨床実習指導者講習会 全国リハビリテーション学校協会主催 2022.7.9 ③PTあ！っと健康講座 公益社団法人熊本県理学療法士協会 2022.7.18 ④令和4年度『九州ブロック管理・運営研修会』日本理学療法士協 九州ブロック会 2022.10.1 ⑤第25回熊本県理学療法士学会 公益社団法人熊本県理学療法士協会 2022.11.20 ⑥第13回熊本県医療人育成総合会議 後援会 公益財団法人肥後医育振興会 2022.12.3 ⑦日本理学療法士連盟主催研修会 □本理学療法士連盟 2022.12.10 ⑧日本理学療法士教員協議会 公益社団法人日本理学療法士協会 2023.2.18
井手 義智	①愛知県理学療法士協会主催研修会 新生児期から赤ちゃんの発達と家族を支援するリハビリテーション 2023.7.10 ②国家試験教員セミナー 国試塾アカデミー 2022.8.6-8.7 ③全国リハビリテーション学校協会 第35回教育研究大会・教員研修会 2022.10.29-30 ④第25回熊本県理学療法士学会学術大会(Web) 2022.11.20 ⑤広島県理学療法士協会主催 特別支援学校に関する研修会(Web) 2023.1.15 ⑥九州在宅医療支援研究会主催 研修会(Web) 2023.1.22 ⑦医療法人おがが会主催 車いすシーティングについて 2023.2.11 ⑧熊本県理学療法士協会小児班主催 第3回スキルアップ研修会・参加型情報共有会議 2023.2.12
渡久山 竜彦	①臨床実習指導者講習会 2022.9.10～9.11(Web受講) ②第35回 教育研究大会・教員研修会 2022.10.29～10.30(web開催) ③第13回 熊本医療人育成総合会議 講演会(肥後医育振興会主催)2022.12.3(熊本大学医学部) ④第1回 臨床実習教育研修会 臨床実習指導者講習会後のアフター研修会 2022.12.11(熊本医療総合リハビリテーション学院)
平田 匠	①臨床実習指導者講習会(WEB受講) 2022.9.23～9.24 ②第35回教育研究大会・教員研修会(web開催) 2022.10.29～10.30 ③第13回 熊本医療人育成総合会議 講演会(肥後医育振興会主催)2022.12.3熊本大学医学部 ④日本理学療法士教員協議会(web開催) 2023.2.18
原田 恭兵	①10回 大学・専門学校 教職員対象オンライン配信セミナー「基礎教育のあり方を問い直す—学修を真に「アクティブ」にする方法とは—」2022.4.28 WEB受講 ②テーマ :フレイル高齢者の関節可動域～拘縮のメカニズムから予防的アプローチまで～沖田実先生(長崎大学)2022.6.23 WEB受講 ③第49回(令和4年度)理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会 2022.8.15～2022.9.3 ④第30回日本腰痛学会 2022.11.2 WEB受講 ⑤公益財団法人運動器の健康・日本協会 教育セミナー2022「理学療法士のための児童生徒の運動器の健康に関する教育セミナー」2022.11.12 WEB受講 ⑥日本シグマックス株式会社主催 腰痛治療を考える～運動療法による治療アプローチ～ 2022.11.17 WEB受講
岩下 祥平	①国家試験教員セミナー 2022.8.6-8.7 (国試塾アカデミー) ②第10回日本運動器理学療法学会学術大会 2022.9.25 Web受講 ③第35回 教育研究大会・教員研修会 2022.11.4 Web受講
石原 靖之	①第25回熊本県理学療法士学会 公益社団法人熊本県理学療法士協会 2022.11.20 ②第13回 熊本医療人育成総合会議 講演会 2022.12.3 受講 (熊本大学医学部) ③第6回福井心不全治療研究会 2023.1.20 WEB受講 ④第11回Gunma Prevent 2023.1.31 WEB受講 ⑤日本理学療法士教員協議会 2023.2.18 WEB受講
大塚開成	①心大血管リハビリテーションにおける作業療法の役割(web開催) 福岡県作業療法協会 福岡東ブロック 2022.6.28 ②九州作業療法学会2022in佐賀 2022.6.18～6.19 ③第49回(令和4年度)理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会 2022.8.15～2022.9.3 ④リハビリテーションUPDATE—リハビリテーションを再考—(web開催)リハテックリンクス株式会社・ジョブメドレー 2022.9.11 ⑤第56回日本作業療法学会(web開催) 2022.9.16～9.18 ⑥特別支援教育に携わる人材育成研修会—0～3歳児の相談支援について—(web開催)熊本県作業療法士会 2022.9.28 ⑦論文(統計結果)の読み方・見方(web開催)熊本県作業療法士会 2022.9.29 ⑧第22回認知神経リハビリテーション学会学術集会(web開催) 2022.10.1～2 ⑨高次脳機能障害研修会(web開催) 熊本県作業療法士会 2022.10.28 ⑩第35回教育研究大会・教員研修会(web開催) 2022.10.29～10.30 ⑪第13回 熊本医療人育成総合会議 講演会(肥後医育振興会主催)2022.12.3熊本大学医学部 ⑫第18回熊本県作業療法学会(web開催) 2023.1.21～1.22
赤石めぐみ	①認知症アップデート(基礎編)熊本県作業療法士会 2022.7.24 WEB受講 ②認知症アップデート(応用編)熊本県作業療法士会 2022.12.4 WEB受講 ③高齢者の在宅生活に必要な認知機能の知識とそのアプローチ方法～脳活性化プログラム『シナプソロジー®』の活用～2022.12.3 ④認知症研修会 2022.11.25 ⑤頰髄損傷者に対するリハビリテーション研修会 2022.12.1～2023.1.16 WEB受講 ⑥第13回 熊本医療人育成総合会議 講演会(肥後医育振興会主催)2022.12.3熊本大学医学部
本田直	九州作業療法学会2022in佐賀 2022.6.18～6.19
亀尾香珠代	第1回人間作業モデル全国事例検討会(web開催)2023.3.19
河野文夫	①日本内科学会学術集会講演会(web開催)2022.4.17 ②熊本県内科医会講演会 地域で取り組む生活習慣病対策 in 熊本 熊本中央病院 糖尿病・内分泌・代謝内科 部長 西田健朗先生、陣内病院 理事長 陣内秀明先生 2022.6.22 ③熊本県内科医会講演会 デュビゴ錠講演会 熊本中央病院 糖尿病・内分泌・代謝内科 部長 西田健朗先生、順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学 准教授 葛西隆敏先生 2022.6.4 ④熊本県内科医会荒尾地区講演会(web開催)CKDと腎性貧血の管理・薬物療法 熊本大学腎臓内科医特任准教授 泉裕一郎先生 2022.6.30 ⑤熊本県内科医会講演会 肝臓領域の最近の話題 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 顧問 熊田博光先生 2022.7.7 ⑥熊本県内科医会講演会 インフルエンザ感染症の診断と治療-COVID19への対応を含めて 長崎大学病態解析・診断学分野 教授 柳原克紀先生 2022.11.9 ⑦熊本県内科医会講演会 Renal Protection Seminar in KUMAMOTO 陣内病院薬剤部長 守田彩文先生 あけぼのクリニック薬局長 甲斐和美先生 あけぼのクリニック副院長 田中元子先生 2022.12.13 ⑧熊本県内科医会講演会 左室肥大併高血圧に治療と心房細動 熊本大学循環器内科教授 辻田賢一先生 2022.12.19 ⑨熊本県内科医会講演会 新型コロナウイルス感染症診療 up to date 宮崎大学附属病院感染症内科 科長 高城一郎先生 2022.12.20

	⑩熊本県内科医会講演会 腎性貧血治療 Update 田中泌尿器科医院事務長 松原弘和先生、福岡腎臓内科クリニック副院長 谷口正智先生 2023.1.24
	⑪第44回日本造血・免疫細胞療法学会 ハイブリッド 東京 2022.5.12
	⑫第84回日本血液学会学術集会 ハイブリッド 福岡 2022.10.14
	⑬第39回日本臨床内科医会総会 ハイブリッド 京都 2022.4.17
	⑭日本臨床内科医学会講演会(web開催) 名古屋 2022.9.18
	⑮第6回かかりつけ医のためのWEB講座 日本臨床内科医会 2022.5.25
	⑯第7回かかりつけ医のためのWEB講座 日本臨床内科医会 2022.6.23
	⑰第8回かかりつけ医のためのWEB講座 日本臨床内科医会 2022.7.27
	⑱第9回かかりつけ医のためのWEB講座 日本臨床内科医会 2022.8.31
	⑲第10回かかりつけ医のためのWEB講座 日本臨床内科医会 2022.10.27
	⑳第11回かかりつけ医のためのWEB講座 日本臨床内科医会 2022.11.30
	㉑第12回かかりつけ医のためのWEB講座 日本臨床内科医会 2022.12.15
	㉒第13回かかりつけ医のためのWEB講座 日本臨床内科医会 2022.1.26
	㉓第14回かかりつけ医のためのWEB講座 日本臨床内科医会 2022.2.22
	㉔第15回かかりつけ医のためのWEB講座 日本臨床内科医会 2022.3.23
川窪昭子	令和4年度 日本介護福祉士養成施設協会 九州ブロック研修会 2022. 9.17 熊本県がん診療連携協議会セミナー 2022.12.11
岸本 稔	①臨床実習指導者講習会 全国リハビリテーション学校協会主催 2022.9.10-11 ②臨床実習指導者講習会 全国リハビリテーション学校協会主催 2022.9.23-24 ③Redcord全国学術大会 2022.11.6 ④Redcord Basicコース開催 2022.11.13 当学院にて ⑤第25回熊本県理学療法士学会 公益社団法人熊本県理学療法士協会 2022.11.20 ⑥九州理学療法士学会 公益社団法人福岡県理学療法士協会主催 2022.11.27 ⑦第13回 熊本医療人育成総合会議 講演会(肥後医育振興会主催)2022.12.3 ⑧熊本理学療法士連盟主催研修会 熊本理学療法士連盟 2022.12.10 ⑨臨床実習指導者講習会 全国リハビリテーション学校協会主催 2023.1.28-29 ⑩熊本県理学療法士協会 学術部研修会 2023.2.5 ⑪Redcord 転倒予防講習会 2023.3.18 当学院にて ⑫Redcord Basicコース開催 2023.3.19 当学院にて
野島謙一郎	令和4年度 日本介護福祉士養成施設協会 九州ブロック研修会 2022. 9.17 日本介護福祉士養成施設協会 全国教員研修会 2022.11.07 日本死の臨床研究会 第46回日本死の臨床研究会年次大会 2022.11.26 第13回 熊本医療人育成総合会議 講演会 2022.12.3 介護福祉士養成大学連絡協議会 研修会 2022.12.17 熊本県介護福祉士会 令和6年度介護保険制度改正の動向について 2023.02.24
V-7 社会活動実績	
田島 徹朗	公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員 公益社団法人 熊本県理学療法士協会 副会長 公益社団法人 熊本県理学療法士協会 臨床実習指導者養成講習会 委員会委員 公益社団法人 熊本県理学療法士協会 会館設立検討委員会委員 公益社団法人 熊本県理学療法士協会 倫理審査特別委員会委員 熊本県理学療法士連盟 副会長 熊本市保健医療専門団体 理事 熊本市介護認定審査員 一般社団法人 リハビリテーション教育評価機構 評価員 熊本リハビリテーション専門職三団体協議会 委員 熊本市住宅改修居宅介護支援員 2023 九州理学療法士学術大会in熊本 準備員長 2022年度 熊本市有巧者受賞
中山 貴文	熊本県スポーツ協会スポーツ医科学専門委員会・トレーナー部会 熊本県剣道連盟事故防止安全委員会 委員
飯星 雅朗	公益社団法人熊本県理学療法士協会 理事 公益社団法人熊本県理学療法士協会 地域局長 熊本市介護給付等の支給に関する審査会 委員 熊本市住宅改修居宅介護支援員 熊本市市民健康フェスティバル 企画準備委員 熊本市保健医療専門団体連合会 監事
石原 靖之	公益社団法人熊本県理学療法士協会 学術局学術部研究開発班 班員 公益社団法人熊本県理学療法士協会 学術局教育部臨床実習教育班 班員
瀧下 明日香	日本ボパース研究会 九州ブロック 熊本県 世話人
渡久山 竜彦	熊本県理学療法士連盟 会計監査
福岡進	公益社団法人熊本県理学療法士協会 倫理委員会 委員
井手 義智	公益社団法人熊本県理学療法士協会 専門領域部小児班 班員
河口万紀子	一般社団法人熊本県作業療法士会 財務部 部長
	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー 平成4年度 熊本市有巧者受賞 熊本市介護認定審査会委員 熊本市自立支援型ケアプラン作成に向けたリハ職派遣モデル事業協力員
山崎 孝文	一般社団法人 日本作業療法士協会 福祉用具相談支援システム 相談担当アドバイザー 一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー 一般社団法人熊本県作業療法士会 くまもとエキスパートOT 熊本市ケア会議アドバイザー
亀尾香珠代	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー 一般社団法人日本作業療法士協会 代議員 一般社団法人熊本県作業療法士会 専務理事(総務部担当理事兼務)
木田 直	一般社団法人熊本県作業療法士会 事務局長

今田 匡	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー
	熊本リハビリテーション専門職三団体協議会 委員
	一般社団法人熊本県作業療法士会 くまもとエキスパートOT
赤石 めぐみ	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術部員
	一般社団法人熊本県作業療法士会 財務部部員
	一般社団法人熊本県作業療法士会 熊本市中央ブロック長
大塚 開成	一般社団法人熊本県作業療法士会 総務部部長
	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術部 部員
	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー
	一般社団法人熊本県作業療法士会 熊本市中央ブロック 財務担当
	一般社団法人熊本県作業療法士会 中長期計画策定チーム
	熊本市自立支援型ケアプラン作成に向けたリハ職派遣モデル事業協力員
福山 貴美子	一般社団法人日本作業療法士協会 認定作業療法士
	熊本県看護教育機関協議会 委員
野島 謙一郎	一般社団法人熊本県介護福祉士会 理事
	熊本県福祉人材・研修センター運営委員会 委員
	日本死の臨床研究会九州支部 支部役員及び啓発教育委員
	熊本県介護の日 実行委員会 副会長 令和4年度 日本介護福祉士養成施設協会 九州ブロック研修会 実行委員
河野文夫	国立病院機構熊本医療センター名誉院長
	国立病院機構熊本医療センター看護師特定行為管理委員会 委員
	国立病院機構熊本医療センター附属看護学校評価委員会 委員
	国立病院機構熊本医療センターOB会 二の丸会 会長
	熊本県内科医会副会長
	日本臨床内科医会代議員
	熊本大学医学部第二内科OB会仁杏会理事
	日本血液学会功労会員
	日本造血細胞移植学会功労会員
	日本内科学会総合内科専門医
	日本血液学会専門医
	日本臨床内科医会認定医
	熊本近代史研究会会員 会誌編集委員
	熊本観光文化検定1級
	熊本県護国神社崇敬会理事
	熊本県医療人育成会議委員会実行委員
	熊本県日中友好協会会員
熊本県文化懇話会会員	
西部方面総監部後援会会員	
熊本県日韓親善協会会員	
岩下 祥平	一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会 熊本各体育運営委員会 ソフトテニス競技委員長
	志学会(同窓会)副会長
川窪昭子	熊本市介護人材確保に関する会議 委員 令和4年度 日本介護福祉士養成施設協会 九州ブロック研修会 実行委員
岸本 稔	公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 副会長
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 臨床実習指導者養成講習会 委員会委員
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 50周年事業特別委員会 委員長
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 組織整備委員会委員
	熊本県医療保健福祉連携学会 企画委員
	熊本県理学療法士連盟 事務局
	熊本県菊池市 介護認定審査員
2023 九州理学療法士学術大会in熊本 副大会長 社会福祉法人 友朋会 評議員	

VI2

高齢者の関連施設とのリモート交流について

新型コロナ感染拡大の影響で、当学院の関連施設である高齢者施設への直接訪問が出来ない為、昨年に引き続き、リモート交流会を実施した。交流会では、作業療法としての意味付けを考慮した集団の活動の実施と、個別の作業療法プログラム作成を、利用者と職員への情報収集面談を通して立案する課題に取り組んだ。

交流会は、臨床実習前の実践的トレーニングとして位置づけ、2、3年生を対象に以下の通り実施した。2年生は、認知症高齢者グループホーム潤で集団活動プログラムを、3年生は、小規模多機能施設かがやきで、集団活動プログラムと個別の作業療法プログラム立案を行った。主な実施内容は以下である。

1) グループホーム潤

(対象学年) 2年生 33名

(目的) zoom を用いた集団活動を企画・実施することで、対象者へのコミュニケーションの取り方を学び、実習の実践力を高める。

(実施方法) 学習班 5名で、役割分担を基に企画運営を行う。

(実施日) 実施時間：45分

10月14日 28日、11月11日 25日

12月4日 23日 計6回

(内容) 自己紹介、RO法、体操、脳トレーニング(諺カード・公文カードを用いた脳トレ課題) クールダウン

2) 小規模多機能型施設かがやき

(対象学年) 3年生 19名

(目的) 利用者との交流および対象者の作業療法プログラムを立案する。

(実施方法) zoom を用いて施設利用者と集団活動を行う。また同意を得た対象者とスタッフに情報収集を行い、個別作業療法プログラムを立案する。

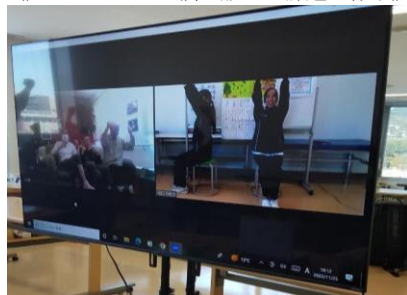
(内容) 体操・脳トレーニング、同意を得た対象者との会話・スタッフへの情報収集
(実施時間と日) 時間：10時～11時

10月14日・28日 11月11日・25日

12月9日・23日 計6回



《グループホーム潤 脳トレ課題の様子》



《グループホーム潤 体操の様子》

3) 報告会の実施

(実施日) 2023年1月23日

5階講堂にて、2年生は活動報告、3年生はMTDLPを用いた作業療法プログラム立案報告を学習毎におこなった。

(まとめ) リモートでの交流は、通常の会話よりも、発声や身振り手振りを強調して関わる対応が必要であり、学生は、相手の反応を見て、関わり方を変化させ工夫している様子が観られた。また、学習班での役割分担を行いながら責任をもって実施することが出来ていた。企画からリハーサル迄は、混乱や緊張している様子もあったが、実施後は、対象者と楽しく交流する経験を通して「楽しかった」など充実した感想が聞かれた。

3年生においては、対象者との会話で相手に不快な気持ちを与えないよう配慮し、相手が答えやすいような質問の仕方に苦慮していた班もあれば、驚くほど対象者の背景まで情報を得ている班もあった。対象者本人だけでなく、支援する家族や自宅周囲の環境など様々な情報収集の如何で目標設定やプログラム立案に影響することが、その後の報告書作成時に理解できた様子である。

VI-4 介護福祉士実務者研修 (通信課程)

介護福祉士国家試験の受験資格を得る研修を通じて、介護福祉士としての対人理解や対人援助の基本的な視点と理念、専門的な職業人として職務に当たるうえでの基本的姿勢、基礎的な知識・技術を習得させ高齢者や障害者の自立支援の担い手として即戦力を有する介護職員を養成することを目的とする。

研修課程は、通信(教材をもとに自宅学習)およびスクーリングからなり、規定期間は6か月間の研修となる。

2022年度 実施期間(A,Bコース開講)

コース	実施期間	定員	受講者
Aコース	令和4年5月2日(火)～10月24日(日)	32人	10人
Bコース	令和4年5月2日(火)～10月25日(日)	32人	10人

スクーリングの日程

コース	スクーリング
Aコース	Aコース 介護過程III(6日間) 医療的ケア(2日間) 7月6日(水) 7月20日(水) 8月3日(水) 8月24日(水) 9月7日(水) 9月21日(水) 10月15日(土)10月16日(日)
Bコース	Bコース 介護過程III(6日間) 医療的ケア(2日間) 8月10日(水) 8月31日(水) 9月14日(水) 9月28日(水) 10月12日(水) 10月26日(水) 11月12日(土)11月13日(日)

学生募集活動

①入学試験

	受験者	合格者		入学者
			内第2希望	
作業療法学科	29	30	2	27
理学療法学科	91	91	0	83
理学療法学科夜間部	24	25	1	23
看護学科	106	82	0	74
介護福祉学科	23	26	2	21
計	273	254	5	228

入学試験出願者(学校別)

熊本国府高等学校	12
熊本西高等学校	11
文徳高等学校	10
東海大学付属熊本星翔高等学校	10
開新高等学校	10
熊本商業高等学校	8
熊本市立必由館高等学校	8
熊本市立千原台高等学校	8
八代白百合学園高等学校	7
熊本農業高等学校	7
ルーテル学院高等学校	7
八代清流高等学校	6
東稜高等学校	6
人吉高等学校	6
秀岳館高等学校	6
翔陽高等学校	5
大津高等学校	4
城北高等学校	4
御船高等学校	4
慶誠高等学校	4
熊本北高等学校	4
熊本マリスト学園高等学校	4
くまもと中央高等学院	4
北稜高等学校	3
天草拓心高等学校 本渡校舎	3
鎮西高等学校	3
第一学院高等学校 熊本校	3
尚綱高等学校	3
小川工業高等学校	3
熊本中央高等学校	3
九州学院高等学校	3
阿蘇中央高等学校 阿蘇校舎	3
くまもと清陵高等学校	3
湧心館高等学校<通信制>	2
真和高等学校	2
松橋高等学校	2
熊本工業高等学校	2

宇土高等学校	2
矢部高等学校	1
未来高等学校	1
飛鳥未来きずな高等学校	1
八代農業高等学校	1
八代東高等学校	1
星槎国際高等学校	1
水俣高等学校	1
鹿本高等学校	1
甲佐高等学校	1
球磨中央高等学校	1
菊池農業高等学校	1
屋久島おおぞら高等学校	1
芦北高等学校	1

【県外】

宮崎県立日向高等学校	2
都城高等学校	1
鎮西学院高等学校	1
長崎県立諫早農業高等学校	1
長崎県立島原商業高等学校	1
大牟田高等学校	1
大阪成蹊女子高等学校	1
鹿児島実業高等学校	1
鹿児島県立出水高等学校	1
鹿屋中央高等学校	1
佐賀県立伊万里実業高等学校	1
宮崎県立小林高等学校	1
宮崎県立高千穂高等学校	1
宮崎県立宮崎農業高等学校	1
宮崎県立延岡工業高等学校	1
愛媛県立弓削高等学校	1
愛知県立蒲郡東高等学校	1

新卒計	226
-----	-----

広報活動

日時	場所	対象	人数	テーマ	担当教員
令和4年5月10日	人吉会場ガイダンス	進学希望者	4	進路ガイダンス	OT赤石 CW野島
令和4年6月7日	栄美通信ガイダンス	進学希望者	30	進路ガイダンス	PT原田 PT岩下 Ns宮木
令和4年6月8日	ドリコムガイダンス	進学希望者	20	進学ガイダンス	PT岩下 OT大塚 Ns福山
令和4年6月15日	熊本中央高校校内ガイダンス	進学希望者	12	進学ガイダンス	OT本田 Ns野島 CW福山
令和4年6月24日	九州学院校内ガイダンス	進学希望者	8	進学ガイダンス	PT岩見 NS福山
令和4年6月24日	広域通信制高校会場ガイダンス	進学希望者	6	進学ガイダンス	PT井手 PT平田 CW野島
令和4年6月28日	ルーテル学院校内ガイダンス	進学希望者	16	進学ガイダンス	PT岩見 Ns福山
令和4年7月1日	慶誠高校校内ガイダンス	進学希望者	21	進学ガイダンス	PT原田 CW山崎
令和4年7月1日	国府高校校内ガイダンス	進学希望者	24	進学ガイダンス	PT岩見
令和4年7月11日	八代東高校看護出張講義	進学希望者	13	進学ガイダンス	Ns大笹
令和4年7月11日	城北高校校内ガイダンス	進学希望者	4	進学ガイダンス	CW野島 PT原田
令和4年7月26日	マイナビガイダンス	進学希望者	57	進学ガイダンス	OT本田・赤石 CW野島
令和4年10月7日	国府高校校内ガイダンス	進学希望者	17	進学ガイダンス	OT赤石
令和4年10月31日	八代白百合学園校内ガイダンス	進学希望者	22	進学ガイダンス	PT飯星
令和4年11月8日	開新高校校内ガイダンス	進学希望者	9	進学ガイダンス	CW野島 CW小川
令和4年11月14日	尚綱高校校内ガイダンス	進学希望者	8	進学ガイダンス	PT飯星・原田 OT亀尾 CW野島
令和5年1月18日	鳥未来きずな高校校内ガイダンス	進学希望者	8	進学ガイダンス	PT原田
令和5年1月25日	北稜高校校内ガイダンス	進学希望者	2	進学ガイダンス	PT原田
令和5年2月9日	熊本商業高校ガイダンス	進学希望者	18	進学ガイダンス	Ns土井
令和5年2月27日	甲佐高校校内ガイダンス	進学希望者	8	進学ガイダンス	CW川窪
令和5年3月8日	千原台高校校内ガイダンス	進学希望者	15	進学ガイダンス	PT岩下 CW小川
令和5年3月13日	鎮西高校校内ガイダンス	進学希望者	17	進学ガイダンス	PT岩下 CW野島
令和5年3月14日	芦北高校校内ガイダンス	進学希望者	9	進学ガイダンス	PT原田 CW野島
令和5年3月15日	城北高校校内ガイダンス	進学希望者	5	進学ガイダンス	PT岩下 CW野島
令和5年3月16日	ドリコムガイダンス	進学希望者	52	進学ガイダンス	PT原田 OT大塚 NS宮木 CW川窪

VI-7 オープンキャンパス

1.開催日時

- 第1回 6月11日(土)9:30 スタート→来校型
- 第2回 7月3日(日)9:30 スタート→来校型
- 第3回 7月16日(日)9:30 スタート→来校型
- 第4回 8月6日(土)9:30 スタート→来校型
- 第5回 8月19日(金)9:30 スタート→来校型
- 第6回 10月19日(水)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
- 第7回 10月22日(土)9:30 スタート→来校型
- 第8回 11月22日(火)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
- 第9回 12月9日(金)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
- 第10回 1月10日(火)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
- 第11回 2月10日(金)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
- 第12回 3月26日(土)9:30 スタート→来校型

2.告知

- ①学院パンフレット、告知ポスターを県内及び県外の高校(県境近郊)に配布
- ②進路ガイダンス等での呼びかけとポスター告知
- ③学院ホームページ、SNS、進学専門誌に掲載

3.参加状況

オープンキャンパスは12回開催し参加者数534名(582名)前年比91.7%だった。()前年数

2022	OT	PT	PTN	Ns	CW	IC	合計
	参加	参加	参加	参加	参加	参加	参加
第1回 6/11(土)	14	15	2	24	5	0	60
第2回 7/3(日)	9	18	2	37	3	0	69
第3回 7/16(土)	10	27	0	18	6	0	61
第4回 8/6(土)	17	43	2	47	8	0	117
第5回 8/19(金)	13	61	3	31	6	0	114
第6回 10/19(金)	0	0	6	0	0	0	6
第7回 10/22(土)	8	10	3	19	2	0	42
第8回 11/22(火)	0	0	3	0	0	0	3
第9回 12/9(金)	0	0	0	0	0	0	0
第10回 1/10(火)	0	0	1	0	0	0	1
第11回 2/10(金)	0	0	2	0	0	0	2
第12回 3/25(土)	10	24	0	20	5	0	59
合計	81	198	24	196	35	0	534

4.内容

通常開催(来校型)7回、ナイトオープンキャンパス5回実施した。



VI 社会活動・地域活動

VI-8 入学前教育プログラムについて

コロナ感染拡大の為、過去2年間リモートでのセミナー開催(3月1回)であったが、今年度は対面でのセミナー実施が可能となった。

理学療法学科(昼間部、夜間部)作業療法学科の新入学生を対象に以下の目的及び内容で開催した。

1) 目的

学習習慣の定着、入学後の学習イメージを持つ学生間と教職員との交流を深める 入学前のオリエンテーションの4つを目的とした。

2) 内容

以下の、①②のプログラム内容で実施した。

①自宅でのテキスト学習

新入学生全員に「プレリハ」テキストの購入を勧め、自宅学習を勧めた。テキストは入学後に提出することとした。

②入学前セミナー(対面)の開催(3回)

◆第1回セミナー

(日時)12月17日(土曜日) 10時~12時

(場所)OT学科 1番教室 PT学科 2.3番教室

(内容)プレリハ確認テスト①、事務連絡
学科別の交流会について

OT学科

4班(1班あたり6名)をつくり、まずアイスブレイクとしてグループごとにサイコロ自己紹介を行い、新入生同士の交流を促した。その後、事前に「プレリハ」で学習した骨について、骨標本を用いた骨カルタを実施した。骨カルタでは、班員で協力しながらお題となる骨を探し、形や大きさを確認し入学後の学習のイメージを持って貰った。



《作業療法学科 第1回セミナーの様子》

PT学科

8班(1班あたり6名程度)をつくり、自己紹介シートを各自記入後、班内でシートを用いて自己紹介を行うことで新入生同士の交流を促した。その後、各班に3つずつ(右大腿骨、右下腿骨、右上腕骨)を配布し、各標本に対して①配布された標本は右、左どちらのものか、②標本の中の指定の部位にシールを貼付するという2つの課題を提示した。その2つの課題は事前学習した知識を活かしつつ、新入生同士で意見交換を行うことで、入学後の学習の導入を目的に行った。



《理学療法学科 第1回セミナーの様子》

(参加人数)PT,56名 PTN.3名 OT24名 総数 83名

◆第2回セミナー

(日時)3月14日(火曜日)

(場所)講堂

(内容)テキストの解説および質問

担当教員:理学療法学科教員 岩下 祥平

(おもな講義内容)

①のプレリハテキストを用いて、解剖学の講義を行った。範囲として、第1章・第2章の一部についてスライドを用いた講義形式で実施した。目的として、医学用語について触れること、医学用語の意味について、今後授業で触れる内容の導入編として行った。関節の運動方向については、担当教員の体を用いて多方向からのイメージ構築を図った。

(参加人数)PT,66名 PTN.18名 OT25名 総数 109名



《全学科合同 第2回セミナーでの講義の様子》



《全学科合同 第2回セミナーでの講義の様子》

◆第3回セミナー

(日時) 3月29日(水曜日)

(場所) 講堂および教室

(内容) プレリハ確認テスト②、事務連絡

入学式のオリエンテーション 学院用Gメール設定

(参人数) PT,78名 PTN.19名 OT25名 総数122名



《全学科合同 第3回セミナーの確認テストの様子》

(まとめ)

今年度の入学前プログラムは、例年取り組んでいる、入学決定後から入学までの自宅でのテキスト学習に加え、対面でのセミナーを3回開催することができた。

昨年度のリモートに比べ、入学前から、学生や教職員との交流の機会を持つことで、入学後のイメージが出来ていた様である。

また、テキスト内容を基本とした確認テストを2

回実施することで、本プログラムの目的である、学習習慣の定着と入学後の学習イメージを持つことに良い効果があったと思われる。実際、確認テストについての成績は全学科良好であった。

更に、入学後の運動機能学の講義では、入学前に骨の名称等の知識があり講義の取り組みやすさがあったようである。

今後の課題として、テキストに解剖生理学の内容が少ない為、その領域が補填できる対応が望まれる。

VII 奨学金・特待制度・減免制度

1 日本学生支援機構		令和4年度 奨学金等交付総額	
2 市町村/団体		¥330,842,300	
3 熊本県母子家庭高等職業訓練促進給付金事業			
4 生命保険協会 介護福祉士養成奨学金			
5 熊本県 介護福祉士等修学支援資金			
6 成績優秀者特待制度			
7 後援会奨学制度			
1 日本学生支援機構		¥18,300	5名
令和4年度交付対象件数	598件	¥20,000	18名
第1種奨学金(利子無)	220件	¥23,800	9名
第2種奨学金(利子付)	242件	¥30,000	36名
給付型奨学金	128件	¥40,000	42名
		¥50,000	51名
入学時特別増額貸与奨学金		¥53,000	99名
利用者数	11名	¥60,000	41名
		¥70,000	14名
		¥80,000	31名
給付第Ⅰ区分	70名	¥90,000	7名
給付第Ⅱ区分	35名	¥100,000	34名
給付第Ⅲ区分	23名	¥110,000	4名
給付総額(減免除く)	¥4,767,900	¥120,000	23名
		入学時増額	人数
令和4年度新規採用者		¥100,000	1名
新入生	216名	¥200,000	3名
在校生	8名	¥300,000	2名
		¥400,000	0名
1ヶ月毎の学生貸与総額		¥500,000	5名
学生への年間貸与額(月額のみ)	¥292,472,400		
学生への年間貸与額(特別増額)	¥3,800,000		
令和4年度新入学生数に対する交付率	57.95%		
全学生数に対する交付率	56.13%		
		日本学生支援機構奨学金 貸与総額	¥296,272,400
2 県市町村及び団体		月額	年額(人数合計)
熊本市修学資金交付対象者	1名	¥51,000	¥612,000
熊本県看護師等就学支援資金	8名	¥36,000	¥3,456,000
あしなが育英会	2名	¥70,000	¥1,680,000
		総額	¥4,068,000
3 熊本県母子家庭高等職業訓練促進給付金事業		月額	
給付	3名	¥70,000	総額 ¥2,520,000
4 生命保険協会 介護福祉士養成奨学生			
給付	2名	¥20,000	総額 ¥480,000
5 熊本県 介護福祉士等修学支援資金		年額	
貸与	22名	¥800,000	総額 ¥17,600,000
a 令和4年度 成績優秀者 特待制度	新入生	在校生	免除額合計
作業療法学科	1名	4名	¥900,000
理学療法学科昼間部	1名	10名	¥2,100,000
理学療法学科夜間部	0名	1名	¥250,000
看護学科	1名	5名	¥832,000
介護福祉学科	0名	2名	¥288,000
		合計人数	25名
		免除総額	¥4,370,000
b 令和4年度 後援会 学費免除制度	対象人数	免除額	
作業療法学科	1名	¥120,000	
理学療法学科昼間部	2名	¥240,000	
理学療法学科夜間部	1名	¥100,000	
看護学科	2名	¥208,000	合計人数 7名
介護福祉学科	1名	¥96,000	免除総額 ¥764,000

【編集後記】

令和4年度も新型コロナウイルスの影響が続いた1年でした。5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、それに先だってマスクの着用が個人の判断に委ねられるようになるなど、ようやく今までの日常が戻りつつあるように思います。引き続き必要な感染対策を図りながら、新年度となり心機一転今までできなかった様々なことにチャレンジしていきたいですね。

今後も学院活動の充実を目指し、そしてそれを社会にわかりやすく伝えることができるように、改善を続けていこうと思います。

島田 一誠

<令和4年度 年報編集委員>

井手 義智 (理学療法学科)

河口 万紀子 (作業療法学科)

福山 貴美子 (看護学科)

野島 謙一郎

(介護福祉学科・国際介護学科)

島田 一誠 (事務部)

志垣 伸太郎 (法人部)